

2023年度

学 生 募 集 要 項

(学校推薦型選抜)

現代システム科学域 経済学部 商学部

理学部 工学部 農学部 獣医学部

医学部 看護学部 生活科学部



＜新型コロナウイルス感染症への対応について＞

新型コロナウイルス感染症への対応について、最新の情報を Web サイトに掲載します。学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合も以下の Web サイトで公表しますので、随時ご確認ください。

○大阪公立大学 入試情報サイト

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/>



2022年7月

大阪公立大学

目 次

大阪公立大学の3つのポリシー.....	1
I 募集人員.....	3
II 入学者選抜方法等	
1 選抜方法等.....	4
III 選抜期日等（試験科目・時間割、試験会場）.....	5
IV 出願手続（インターネット出願）	
1 出願期間.....	7
2 出願方法.....	7
3 入学検定料等の支払方法.....	8
4 出願についての注意.....	8
5 受験票・受験上の注意の印刷.....	9
6 受験上・修学上の配慮について.....	10
V 学部・学域等の選抜方法等.....	11
現代システム科学域.....	12
経済学部.....	16
商学部.....	20
理学部.....	24
工学部.....	32
農学部.....	40
獣医学部.....	44
医学部リハビリテーション学科.....	48
看護学部.....	52
生活科学部.....	56
VI 第1次選考合格者発表	
1 第1次選考合格者発表について（第1次選考を実施する場合のみ）.....	61
VII 第2次選考・最終選考合格者発表	
1 第2次選考・最終選考合格者発表について.....	62
2 合格通知書及び入学手続書類.....	63
VIII 入学手続	
1 入学手続について.....	63
2 入学許可の取消し.....	64
IX 学費（入学料・授業料等）	
1 入学料.....	64
2 授業料.....	64
3 その他.....	64
X 経済支援制度について.....	65
XI その他	
1 個人情報の取扱いについて.....	65
2 個人別成績の情報提供について.....	65
3 注意事項.....	66
試験会場交通アクセス.....	67
問合せ先・各キャンパス窓口.....	68
郵送先.....	70

受験者の皆様へ

本学の入学試験は、学部・学域等によって選抜方法が異なりますので、記載内容を熟読して、出願手続、受験等について間違いのないよう注意してください。

大阪公立大学の3つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪公立大学では、学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。

このため、学士課程では、各学部等のカリキュラム・ポリシーに準じたカリキュラムを全学共通教育としての「基幹教育」と「専門教育」の2つに区分する。基幹教育は、その企画・運営組織として「国際基幹教育機構」を設置し、外国語の運用能力を含めた国際的なコミュニケーション能力、幅広い視野に立つ自主的、総合的な判断力と問題発見・解決能力を養い、継続的、発展的な学修を支えるためのコアを形成することを目指すとともに、Society 5.0時代などに求められる人材や高等教育の目指すべき姿など大学への社会的要請を踏まえ幅広い知識の獲得を目指す。専門教育では、さらに専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な感性や知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるように高度で専門的な内容を修得することを目指す。各学部等の教育課程では、基幹教育と専門教育を通じて必要な知識・技能・態度・能力等を獲得し、これらを活用し、社会変化に対応できる人材となることを目指す。

全ての学生が（知識・理解）、（技能）、（態度・志向性）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で、以下の具体的な学修成果を上げることを目指す。

学士課程で目指す学修成果

（知識・理解）

- 多様性について学び、他文化・異文化に関する知識を尊重・理解することができる。
- 人間と言語・文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康・スポーツについて尊重し、理解を深めることができる。
- それぞれの専門領域の知識と技術を体系的に学び、応用できる。

（技能）

- 日本語や外国語を用い、それぞれに求められる水準で受信、発信、やりとり、仲介を行うことができる。
- 自然や社会現象について数学・統計を用いて分析し、意思決定に活用できる。
- 情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- 情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）をし、更に表現することができる。
- 問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に向かうことのできる実践力を身に付ける。

（態度・志向性）

- 自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
- 他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
- 地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
- 自ら学ぶ姿勢を身に付け、生涯にわたって進んで学修できる。

（統合的な学修経験と創造的思考力）

- これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪公立大学における学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、前述の「学士課程で目指す学修成果」を達成しているかなど、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。

授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に1年次・2年次において学び、専門科目は2年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。基幹教育科目は以下の方針で編成している。

- 学生として自ら学ぶ姿勢を身に付け、アカデミックスキルの基礎を身に付けるため、1年前期必修科目として「初年次

ゼミナール」を導入する。

- 学生の視点に立った学修の系統性や順次性を重視し、各々のカリキュラムの中で中核となる科目を必修科目と位置づけ、学生にとって履修計画が立てやすいものとする。
- 基幹教育と専門教育との接続性を重視し、学士課程全体を通して学修成果が達成できるカリキュラムを構築する。
- 全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる「副専攻」の設置など、学域・学部を越えて幅広く学ぶことができる教育課程の編成を行う。
- 学期は、1 年を前期・後期の 2 学期制とし、15 週の授業期間と試験期間を設ける。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施する。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待する。

- (1) 高等学校教育段階において目指す学力の 3 要素を確認する。
- (2) 本学の基幹教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認する。
- (3) 学域や各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認する。

※学部・学域等の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



※商学部〈商業科等対象〉、工学部都市学科（地域限定）、医学部医学科（地域限定）の学校推薦型選抜については、それぞれ別の「学生募集要項」をご参照ください。

I 募集人員

学 部・学 域			学 科・学 類・専 攻	募 集 人 員	受 験 区 分 等
現代システム科学域	知識情報システム学類		10名	文系型 5 名、理系型 5 名	
	環境社会システム学類		20名		
	教育福祉学類		9 名		
	心理学類		5 名		
経済学部	経済学科		60名	英語重点型38名 数学重点型22名	
商学部	商学科		40名	英語重点型25名 数学重点型15名	
	公共経営学科				
理学部	物理学科		7 名		
	化学科		12名		
	生物学科		9 名		
	地球学科		4 名		
	生物化学科		5 名		
工学部	機械工学科		3 名		
	電子物理工学科		3 名		
	応用化学科		3 名		
	マテリアル工学科		3 名		
	化学バイオ工学科		2 名		
農学部	応用生物科学科		10名	大阪府内枠 5 名、全国枠 5 名	
	生命機能化学科		10名	大阪府内枠 5 名、全国枠 5 名	
	緑地環境科学科		10名	大阪府内枠 4 名、全国枠 6 名	
獣医学部	獣医学科		5 名		
医学部	リハビリ テーショ ン学科	理学療法学専攻	8 名		
		作業療法学専攻	8 名		
看護学部	看護学科		55名		
生活科学部	食栄養学科		20名	均等型10名 （大阪府内枠 4 名、全国枠 6 名） 理数重点型10名 （大阪府内枠 4 名、全国枠 6 名）	
	居住環境学科		9 名	大阪府内枠 2 名、全国枠 7 名	
	人間福祉学科		15名	大阪府内枠 2 名、全国枠13名	

(注) 総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。ただし、工学部応用化学科、マテリアル工学科、化学バイオ工学科については、一般選抜（中期日程）の募集人員に加えます。

募集方法及び学科等の決定に関する注意事項

1 全学部・学域共通

経済学部、商学部、獣医学部、看護学部は、学部単位で募集します。理学部、工学部、農学部、生活科学部は、学科単位で募集します。医学部リハビリテーション学科は、専攻単位で募集します。現代システム科学域は、学類単位で募集します。

2 商学部

- ・学科への所属は2年次後期からで、学科の希望調査及び決定は前期に行います。なお、志望者多数の学科では学科定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科に進めない場合があります。

3 農学部

- ・大阪府内枠で不合格となった者は、全国枠に該当する者と共に再度選抜します。

4 生活科学部

- ・大阪府内枠で不合格となった者は、全国枠に該当する者と共に再度選抜します。
- ・食栄養学科は入試の型により授業を受けるキャンパスが異なります。入試の型が「均等型」の場合、2年次は羽曳野キャンパス、「理数重点型」の場合、2年次は杉本キャンパスとなります。1年次は入試の型に関係なく杉本キャンパス、3年次・4年次は森之宮キャンパスの予定です。なお、2年次のキャンパスが異なっても修学上の差はありません。
- ・人間福祉学科の資格取得に係る実習・演習科目の履修は、学内選抜による定員制です。

Ⅱ 入学者選抜方法等

1 選抜方法等

(1) 大学入学共通テスト、小論文、口述試験、面接、出願書類等により総合判定します。

詳細については、学部・学域、学科・学類、専攻により異なりますので、志望する学部・学域等のページ（12～60 ページ）を参照してください。

(2) 次の者は、合格判定の対象にはなりません。

- ・（大学入学共通テストを課す場合）令和5（2023）年度大学入学共通テストで指定した教科・科目を受験しなかった者
- ・個別学力検査等で指定した教科・科目を受験しなかった者

（注）（大学入学共通テストを課す場合）令和5（2023）年度大学入学共通テストで学部・学域等が指定する教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は失格となります。大学入学共通テスト以降に個別学力検査等がある場合は受験できませんので、十分注意してください。

(3) 第1次選考について

- ・理学部では、第1次選考を実施します。
- ・工学部電子物理工学科では、第1次選考を実施します。
- ・工学部機械工学科では、志願者数が募集人員の6倍を超えた場合、化学バイオ工学科では、志願者数が募集人員の10倍を超えた場合、第1次選考を実施することがあります。
- ・獣医学部では、志願者数が募集人員の5倍を超えた場合、第1次選考を実施することがあります。
- ・生活科学部では、第1次選考を実施します。

Ⅲ 選抜期日等（試験科目・時間割、試験会場）

学部・学域	学 科 ・ 学 類 等		選 抜 期 日		試 験 会 場
			2022年11月19日（土）		
現代システム科学域	知識情報システム学類		面接 9:30～		中百舌鳥 キャンパス
	環境社会システム学類		小論文 9:30～11:30 (120分)	面接 13:00～	
	教育福祉学類		小論文 9:30～11:00 (90分)		
	心理学類		小論文 9:30～11:30 (120分)		
工学部	機械工学科		小論文 9:30～11:00 (90分)	口述試験・面接 12:30～	中百舌鳥 キャンパス
	応用化学科		小論文 9:30～11:30 (120分)	口述試験・面接 13:00～	
	マテリアル工学科		口述試験・面接 9:30～		
農学部	緑地環境科学科		小論文 11:00～12:00 (60分)	面接 13:00～	中百舌鳥 キャンパス
獣医学部	獣医学科		小論文 11:00～12:00 (60分)	面接 13:00～	中百舌鳥 キャンパス
医学部	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	面接※ 9:30～		羽曳野 キャンパス
		作業療法学専攻			

※ 試験終了予定時刻が 14:00 を超える場合は、試験開始時刻を午後からも設定する場合があります。

試験開始時刻は受験票に記載していますので各自確認してください。

なお、指定された試験開始時刻の変更はできません。

学 部	学 科	選 抜 期 日		試 験 会 場
		2023年 2 月10日（金）		
理 学 部	物理学科	小論文 9:30～12:00 (150 分)	口述試験 13:30～	杉本 キャンパス
	化学科	口述試験 13:30～		
	生物学科			
	地球学科			
	生物化学科			
工 学 部	電子物理工学科	口述試験・面接 9:30～		中百舌鳥 キャンパス
	化学バイオ工学科			

学 部	学 科	選 抜 期 日	試 験 会 場
		2023 年 2 月 11 日（土・祝）	
生 活 科 学 部	食栄養学科	口述試験 13：30～	杉本 キャンパス
	居住環境学科		
	人間福祉学科		

（注）経済学部、商学部、農学部（応用生物科学科・生命機能化学科）、看護学部については、個別学力検査等を課しません。

IV 出願手続（インターネット出願）

学校推薦型選抜の出願手続はインターネット出願により行います。

※インターネットの出願登録と入学検定料等の支払いだけでは出願手続完了にはなりません。出願書類を郵送（郵送提出期間内必着）する必要があります。

1 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022年10月28日（金）10:00 ～2022年11月4日（金）17:00	2022年11月1日（火） ～2022年11月4日（金） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

（注）・出願書類は本学へ直接持参しても受理できません。

- ・郵送提出期間後に到着したものは受理できませんので十分注意してください。ただし、2022年11月2日（水）以前の発信局（日本国内）の消印のある「簡易書留速達郵便」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。郵便事情による不着については、原則考慮しませんので、余裕を持って出願してください。
- ・出願書類は、インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、出願する学部・学域等の試験会場となる各キャンパス（杉本キャンパス・中百舌鳥キャンパス・阿倍野キャンパス・羽曳野キャンパス）に郵送提出期間内必着で郵送してください。（郵送先 70 ページ）
- ・高等学校等でとりまとめて郵送する必要はありません。

2 出願方法

次の手順で出願を行ってください。



事前準備	
Step 1	パソコン等の動作環境
	印刷環境
	メール設定
	出願に必要な書類
	封筒



インターネット出願サイトにアクセス	
Step 2	・本学 Web サイトから、出願登録期間中にインターネット出願サイトにアクセスしてください。
	https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/inet-apply.html 



Step 3

出願内容の登録

- インターネット出願サイトの「利用案内」、「出願手順」、「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。
- 出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、最終確認画面で登録した内容を必ず確認してください。

▼

Step 4

入学検定料等の支払い

- インターネット出願サイトの指示に従って、次の（１）～（４）のいずれかの方法で、入学検定料（30,000 円）をお支払いください。（「３ 入学検定料等の支払方法」を参照）
- 入学検定料の他に、支払手数料（990 円）が必要となります。

（１）	（２）	（３）	（４）
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM（ペイジー）	ネットバンキング

▼

Step 5

出願確認票及び宛名ラベルの印刷

- 登録したユーザーID、パスワードにて再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4 サイズの白の用紙に片面で印刷してください。（カラー印刷推奨）
- インターネット出願登録期間内に必ず印刷を完了してください。出願登録期間終了後は、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が出来なくなります。

▼

Step 6

出願書類の郵送

- 出願書類を簡易書留郵便（速達可）により郵送してください。（学部・学域等 12～60 ページ「４ 出願書類等」を確認してください。）
- 郵送提出期間内（７ページ「１ 出願期間」）に出願書類が到着しなければ、出願は受理できませんので注意してください。

3 入学検定料等の支払方法

出願登録後に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 : 30,000 円
- ・支払手数料 : 990 円

支払方法は、以下の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支 払 方 法	取 扱 機 関 等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払いのみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM (ペイジー)	Pay-easy マークの付いている金融機関の ATM で支払うことができます。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

4 出願についての注意

- (1) 国公立大学の学校推薦型選抜の出願は、1つの大学、学部・学域等に限られます。
- (2) 学校推薦型選抜出願者は本学を含む国公立大学の一般選抜にも出願することができます。
- (3) 大学入学共通テストを課す場合

出願にあたっては、学部・学域等が指定する令和5(2023)年度大学入学共通テストの教科・科目

(12～60 ページ) を必ず受験してください。

受験した教科・科目数が不足している場合や、科目選択にかかる注意事項が守られていない場合は失格となります。大学入学共通テスト以降に個別学力検査等がある場合は受験できません。

(4) 「受験区分」の選択について

志望する学部・学域等に応じて、出願登録時に以下のとおり受験区分を選択してください。

- ・現代システム科学域の知識情報システム学類は、文系型・理系型のどちらかを選択してください。
- ・経済学部、商学部は、英語重点型・数学重点型のどちらかを選択してください。
- ・生活科学部の食栄養学科は、均等型・理数重点型のどちらかを選択してください。また、各学科とも大阪府内枠、全国枠のどちらかを選択してください。

(5) 試験は、指定のキャンパス（5～6 ページ）にて受験してください。

(6) 志願者情報の入力について

- ・氏名は、大学入学共通テスト志願票に記載のとおり入力してください。
- ・住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、68 ページ「問合せ先」の「入試に関すること」の問合せ先に申し出るか、郵便局に転居届を提出してください。

(7) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。また、出願受理後の出願取消しは、一切認めません。

(8) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(9) 提出された出願書類は、一切返却しません。ただし、獣医学部の英検合格証明書、英検 CSE スコア証明書、GTEC CBT OFFICIAL SCORE CERTIFICATE の原本は返却します。

(10) 出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて郵送提出期間内に必着）の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しません。

(11) 大学入学共通テスト成績請求票の使用区分誤りなど、出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。なお、電話やメールの確認不足により不利益を被ったとしても本学は責任を負いません。

(12) 既納の入学検定料は次の事由以外では還付しません。

【還付可能な事由】

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込んだ場合

還付方法等は、郵送提出期間最終日より 1 か月以内に入試課に問い合わせてください。

大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者には、「失格通知書」及び「入学検定料還付申請書・口座振替申出書」を送付し、入学検定料 30,000 円のうち 26,000 円を還付します。

ただし、個別学力検査等実施後に大学入学共通テスト受験科目の不足が判明した場合は、入学検定料還付の対象となりません。

5 受験票・受験上の注意の印刷

出願書類が受理された者には、インターネット出願時に登録したメールアドレスあてに受験票に関するお知らせを送信します。メールに記載の URL のサイトにアクセスし、インターネット出願サイトに登録したユーザー ID、パスワードを入力し、A4 サイズの白の用紙に各自で受験票を印刷し、試験当日に必ず持参してください（受験票は郵送しません）。

(1) 個別学力検査等を課す学部・学域等

試験日 1 週間前又は第 1 次選考合格発表日前日になってもメールが届かない場合及び受験票の記載

事項に誤りがある場合は、必ず 68 ページ「問合せ先」の「入試に関すること」の問合せ先に申し出てください。

学部・学域等における受験上の注意は、本学 Web サイトに掲載する予定です。受験にあたっては、受験上の注意を必ず印刷して内容を確認し、受験票とともに試験当日に持参してください。

(注)「受験票」は、個別学力検査実施の当日及び入学手続き時に必要ですので、紛失しないように保管してください。

(2) 個別学力検査等を課さない学部等

個別学力検査等を課さない学部等についても受験票を発行します。2022 年 12 月 23 日（金）までに必ず受験票を印刷してください。2022 年 11 月 25 日（金）になってもメールが届かない場合及び受験票の記載事項に誤りがある場合は、必ず 68 ページ「問合せ先」の「入試に関すること」の問合せ先に申し出てください。

6 受験上・修学上の配慮について

(1) 障がい等を理由とする受験上の配慮にかかる事前相談等

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は事前相談の手続を行ってください。

ア 相談の方法

以下「ウ 申請先及び問合せ先」に連絡の上、本学所定の申請書（原則として医師の診断書等添付）を提出することとし、必要な場合は入学志願者・保護者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

イ 事前相談及び申請期間

インターネット出願登録期間の 1 か月前まで

(注) 上記期間以降においても可能な限り対応しますが、申請内容によっては、時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

ウ 申請先及び問合せ先

68 ページの学部・学域等の「受験上の配慮」の問合せ先又は以下のメールアドレスに連絡してください。

E-mail : gr-nyu-ask2@omu.ac.jp

※メールには、受験上の配慮を希望する学部・学域等を明記の上、問い合わせてください。

(2) 障がい等を理由とする修学上の配慮や支援に関する相談等

修学上の合理的配慮は、入学後の申請に基づき決定します。したがって受験上の配慮内容が必ずしも修学上の合理的配慮として認められるものではありません。

ただし、受験前（出願前）も修学上の配慮や支援に関する相談は受け付けますので、受験を検討するにあたり相談を希望する者は、以下に問い合わせてください。

【修学上の配慮に関する問合せ先】

<アクセシビリティセンター>

E-mail : gr-gks-ac@omu.ac.jp

<https://www.omu.ac.jp/campus-life/support/disabled/accessibility/>



現代システム科学域・工学部（建築学科、都市学科、化学バイオ工学科除く）・農学部・獣医学部・医学部リハビリテーション学科・看護学部志願者

<中百舌鳥キャンパス>

TEL : 072-254-9867

経済学部・商学部・理学部・工学部（建築学科、都市学科、化学バイオ工学科）・生活科学部志願者

<杉本キャンパス>

TEL : 06-6605-3650

V 学部・学域等の選抜方法等

※学校推薦型選抜の詳細については、学部・学域、学科・学類、専攻により異なりますので
志望する学部・学域等のページ（12～60 ページ）を参照してください。

現代システム科学域

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

現代社会においては、環境問題、社会・福祉問題、心理的問題が複雑に絡み合い、現在のような豊かな社会が持続可能かどうかは疑問視される状況となっており、これらの複雑な問題を解決し、持続可能な社会を実現するという高い志を持った人材の育成が求められている。本学域では、複数の学問分野を融合的に学びつつPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、現代社会の諸問題を解決することができる人材を養成することを目指す。

したがって、本学域では、次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

知識情報システム学類

知識情報システム学類では、情報学およびその応用分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、現代社会におけるさまざまな課題を解決するために情報システム開発・活用することができる人材を養成する。

したがって、知識情報システム学類では、次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、知識情報システム学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

環境社会システム学類

環境社会システム学類では、自然科学、人文・社会科学、人間科学の融合領域を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、自然環境、社会環境、環境哲学・政策の課題を総合的に解決できる人材を養成する。

したがって環境社会システム学類では、次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、環境社会システム学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

教育福祉学類

教育福祉学類では、社会福祉学、保育学、教育学、ジェンダー論及びその関連分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、教育福祉に関わるさまざまな課題を総合的に解決できる人材を養成する。

したがって、教育福祉学類では次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、教育福祉学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人

心理学類

実験心理学と臨床心理学を統合的に学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、ヒトの心理的問題を解決できる人材を養成する。

したがって心理学類では、次のような学生を求めている。

(知識・技能)

- 1 高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、心理学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人

(思考力・判断力・表現力)

- 2 問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
- 3 自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

(社会の諸問題への関心)

- 4 現代社会の諸問題に対する関心を有している人



入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

知識情報システム学類

- （知識・技能）大学入学共通テスト、調査書を用いて評価する。
 （思考力・判断力・表現力）大学入学共通テスト、面接を用いて評価する。
 （社会の諸問題への関心）面接、推薦書、志望理由書を用いて評価する。

環境社会システム学類／教育福祉学類／心理学類

- （知識・技能）調査書、個別学力検査を用いて評価する。
 （思考力・判断力・表現力）個別学力検査、面接を用いて評価する。
 （社会の諸問題への関心）面接、推薦書、志望理由書を用いて評価する。

1 募集人員（現代システム科学域は、学類単位で募集します。）

学 類	募 集 人 員	受 験 区 分 等
知識情報システム学類	10 名	文系型 5 名、理系型 5 名
環境社会システム学類	20 名	—
教育福祉学類	9 名	—
心理学類	5 名	—

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等

●知識情報システム学類

- （1）出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を 2023 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2022 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学類での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- （2）各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は文系型と理系型を合わせて 2 名以内、その他の高等学校等は文系型と理系型のいずれか 1 名とします。

●環境社会システム学類／教育福祉学類／心理学類

- （1）出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を 2023 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2022 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 教育福祉学類については、調査書の全体の学習成績の状況が 4.0（5 点満点）以上の者。環境社会システム学類及び心理学類については、調査書の全体の学習成績の状況が 4.0（5 点満点）以上で、かつ「外国語、英語のいずれか 1 教科」及び「国語、地理歴史、公民、理科、数学、理数のいずれか 2 教科」の 3 教科の学習成績の状況の平均が 4.2（5 点満点）以上の者
- ※ 「数学」「理科」のいずれも履修していない者は、「理数」を 2 教科に数えることができます。
- ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学類での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- （2）各高等学校等で推薦できる人数は、学類あたり大阪府内の高等学校等は 2 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。

（注ア） 高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。

- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
 - ・学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 2 号から第 4 号及び第 7 号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関
- ただし、同条第 7 号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの（2023 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査はインターネット出願登録期間の 1 か月前までに書類の提出が必要となりますので、現代システム科学域担当（072-254-9202）に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022 年 10 月 28 日（金）10:00 ～2022 年 11 月 4 日（金）17:00	2022 年 11 月 1 日（火）～2022 年 11 月 4 日（金） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

4 出願書類等（＊）がついた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html



書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A4サイズの白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票及び縦4cm×横3cmの写真（1枚）	本学所定の様式（＊）に必要事項を記入し、写真（上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学域・学類、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式（＊）により、出身学校長が作成し片面又は両面で印刷したものを厳封し提出してください（パソコン等での作成も可）。
(5) 志望理由書	本学所定の様式（＊）により、志願者本人がパソコン等で作成してください。現代社会の諸問題に対する関心を含めて記載してください。なお、現代社会の諸問題に対する関心について書かれていない場合は、合否判定の対象となりません。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A4サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1つの封筒にまとめても構いません。

5 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後に提出）

書 類 種 別	注 意 事 項
令和5（2023）年度大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙 〈知識情報システム学類のみ〉	12月に大学入学共通テスト受験票が手元に届き次第、大学入学共通テスト受験票に付属の「 <u>推薦</u> 国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼付台紙に貼り付け、 2022年12月23日（金） 必着で、現代システム科学域の郵送先（70ページ）に簡易書留郵便で送付（郵送封筒は任意）してください。大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙（本学所定の様式（＊））はA4サイズの白の用紙に印刷し、志願者本人が自筆で記入してください。

6 選抜方法

●知識情報システム学類

大学入学共通テスト、志望理由書等に基づく面接、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書）を総合して判定します。

文系型

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト （4教科5科目）	国語	「国語」	200
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	100
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択計2科目（注2）	300
	外国語	「英語」（注3）	400
大学入学共通テストの配点合計			1,000
個別学力検査等	面接		250
配点合計			1,250

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

（注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語（英語）の得点として、配点400点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点400点に換算します。

理系型

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (4教科6科目)	国語	「国語」	200
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目 (注1)	300
	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択	200
	外国語	「英語」 (注2)	300
	大学入学共通テストの配点合計		1,000
個別学力検査等	面接		250
	配点合計		1,250

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

(注1) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

(注2) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点300点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点300点に換算します。

●環境社会システム学類/教育福祉学類/心理学類

小論文、志望理由書等に基づく面接、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書)を総合して判定します。
大学入学共通テストは課しません。

学 類	個 別 学 力 検 査 等	配 点
環境社会システム学類 心理学類	小論文	150
	面接	100
	配点合計	250

学 類	個 別 学 力 検 査 等	配 点
教育福祉学類	小論文	200
	面接	100
	配点合計	300

※小論文は、日本語及び英語の文章や資料による出題に基づき、理解力、思考力、表現力等を問います。

7 選抜期日

選 抜 期 日
2022年11月19日(土)

8 合格者発表日時

学 類	合 格 者 発 表 日 時
知識情報システム学類	2023年2月14日(火) 10:00
環境社会システム学類/教育福祉学類/心理学類	2022年12月1日(木) 10:00

※62ページを参照してください。

9 入学手続

知識情報システム学類は「来学」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

学 類	入 学 手 続 指 定 日
知識情報システム学類	2023年2月20日(月)

※63～64ページを参照してください。

環境社会システム学類、教育福祉学類、心理学類は「郵送」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

学 類	入 学 手 続 受 付 期 間
環境社会システム学類 教育福祉学類 心理学類	2022年12月7日(水)～2022年12月13日(火)【必着】

※63～64ページを参照してください。

経済学部

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

本学部は、「経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取的に提案することのできる人」を育てるという教育目標にもとづき、高等学校教育段階において人文・社会・自然科学を均衡のとれた仕方で学修し、グローバルな経済・社会が直面している問題に関心を抱き、他者との意思疎通や共同の事業に取り組むことのできる人を受け入れる。

※経済学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

大学入学共通テストにより、高等学校教育段階においてめざす基礎学力と経済学部での学修に十分に対応できる能力とを確認し、出身学校長による推薦書および活動報告書の内容とあわせて学力の3要素を総合的に評価する。

1 募集人員（経済学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員	受 験 区 分 等
60 名	英語重点型 38 名、数学重点型 22 名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を2023年3月に卒業見込みの者（留学等により、2022年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2023年3月31日までに修了見込みの者
- ② 調査書の全体の学習成績の状況が3.5（5点満点）以上の者
- ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学部での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ④ 令和5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
- ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(2) 各高等学校等で推薦できる人数に制限はありません。

（注ア） 高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。

- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
 - ・学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第2号から第4号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関
- ただし、同条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（2023年3月31日までに18歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査はインターネット出願登録期間の1か月前までに書類の提出が必要となりますので、杉本キャンパス入試課（06-6605-2141）に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022年10月28日（金）10:00 ～2022年11月4日（金）17:00	2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

4 出願書類等（*）がついた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html



書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A 4 サイズの白の用紙に片面で印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票及び縦 4 cm×横 3 cm の写真（1 枚）	本学所定の様式（※）に必要な事項を記入し、写真（上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式（※）により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。片面で印刷し、左上をホチキスで留めてください。
(5) 活動報告書	本学所定の様式（※）により、志願者本人が作成してください（パソコン等での作成も可）。A 4 サイズの白の用紙に片面で印刷してください（ホチキス留めは不要）。 「活動報告書」の作成にあたっては、本学 Web サイト内（出願関係書類一覧）の「活動報告書記入の手引き」を参照してください。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A 4 サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

5 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後に提出）

書 類 種 別	注 意 事 項
令和 5（2023）年度大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙	12月に大学入学共通テスト受験票が手元に届き次第、大学入学共通テスト受験票に付属の「 推薦 国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼付台紙に貼り付け、 2022年12月23日（金） 必着で、経済学部の郵送先（70ページ）に簡易書留郵便で送付（郵送封筒は任意）してください。大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙（本学所定の様式（※））は A 4 サイズの白の用紙に印刷し、志願者本人が自筆で記入してください。

6 選抜方法

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、活動報告書）を総合して判定します。
個別学力検査等は課しません。

英語重点型の大学入学共通テスト利用教科・科目名

教 科	科 目 名	配 点
国語	「国語」	200
地理歴史・公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から 1 科目選択（注 1）	100
数学	「数学Ⅰ・数学 A」と「数学Ⅱ・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から 1 科目選択 計 2 科目（注 2）	200
外国語	「英語」（注 3）	300
	（4 教科 5 科目）	大学入学共通テストの配点合計 800

・2 科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- （注 1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を 1 科目と指定しているところを 2 科目受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。
- （注 2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学 B」を設けていない場合に限り選択できます。
- （注 3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100 点、「リスニング」100 点の合計 200 点を「リーディング」150 点、「リスニング」50 点の合計 200 点に換算し、外国語（英語）の得点として、配点 300 点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100 点を 200 点に換算し、配点 300 点に換算します。

数学重点型の大学入学共通テスト利用教科・科目名

教科	科目名	配点
国語	「国語」	200
地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	100
数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	300
外国語	「英語」（注3）	200
	（4教科5科目） 大学入学共通テストの配点合計	800

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

（注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

7 合格者発表日時

合格者発表日時
2023年2月14日（火）10：00

※62 ページを参照してください。

8 入学手続日

入学手続は「来学」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

入学手続指定日
2023年2月20日（月）

※63～64 ページを参照してください。

商学部

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

商学部では、商学部での学びに必要な基本的な知識と能力、外国語能力を身につけ、企業や社会について旺盛な探求心と世界的視野と批判的精神を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展と持続可能な社会の実現に積極的に貢献しようとする意欲と能力があり、人間性と将来性が豊かな学生を求めている。

また、商学部の掲げる人材養成の方針を理解し、自分の将来に活かす努力を惜しまない学生を求めている。

商学科

商学部で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて商学科では次のような関心を持つ学生を求めている。

- ・企業が抱える経営並びに国際経営上の諸問題の構造やその解決に関心を持っている人
- ・金融・流通の諸問題の構造やその解決に関心を持っている人
- ・社会における会計の役割に関心を持っている人

公共経営学科

商学部で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて公共経営学科では次のような関心を持つ学生を求めている。

- ・企業や経済の地域性や社会性に関心を持っている人
- ・地方公共団体などの公的機関や非営利組織の仕組みや役割に関心を持っている人

※商学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

大学入学共通テストによって高等学校教育段階においてめざす知識・技能、商学部での学修に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力をそれぞれ確認し、調査書、出身学校長の推薦書および活動報告書によって主体性・多様性・協働性を確認して、総合的に評価をおこなう。

1 募集人員（商学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員	受 験 区 分 等
40 名	英語重点型 25 名、数学重点型 15 名

（注 1）学科への所属は 2 年次後期からで、学科の希望調査及び決定は前期に行います。なお、志望者多数の学科では学科定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科に進めない場合があります。

（注 2）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等

（1）出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2023 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2022 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ② 調査書の全体の学習成績の状況が 3.5（5 点満点）以上の者
- ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学部での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ④ 令和 5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
- ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

（2）各高等学校等で推薦できる人数に制限はありません。

（注ア）高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。

- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
- ・学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 2 号から第 4 号及び第 7 号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関

ただし、同条第 7 号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの（2023 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査はインターネット出願登録期間の 1 か月前までに書類の提出が必要となりますので、杉本キャンパス入試課（06-6605-2141）に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022 年 10 月 28 日（金）10:00 ～2022 年 11 月 4 日（金）17:00	2022 年 11 月 1 日（火）～2022 年 11 月 4 日（金） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

4 出願書類等（*）がついた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html



※本学所定の様式について、本来の様式から崩れている場合、書類の再提出を求めることがあるため注意して印刷してください。また、様式は学校推薦型選抜の商学部のものを利用してください。

書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A4サイズの白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票及び縦4cm×横3cmの写真（1枚）	本学所定の様式（*）に必要事項を記入し、写真（上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式（*）により、出身学校長が作成しA4サイズの白の用紙に片面で印刷して厳封したものを提出してください（パソコン等での作成も可、ホチキス等でまとめる必要なし）。 志願者の学業、能力・適性、特別活動、取得資格等について400字以内で出身学校長が作成してください。
(5) 活動報告書	本学所定の様式（*）により、志願者本人が作成してください（パソコン等での作成も可、活動詳細1,000字以内、A4サイズの白の用紙片面印刷、ホチキス等でまとめる必要なし）。 「活動報告書」の作成にあたっては、本学 Web サイト内（出願関係書類一覧）の「活動報告書記入の手引き」を参照してください。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A4サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1つの封筒にまとめても構いません。

5 大学入学共通テスト成績請求票（出願書類の郵送提出期間後に提出）

書 類 種 別	注 意 事 項
令和5（2023）年度大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙	12月に大学入学共通テスト受験票が手元に届き次第、大学入学共通テスト受験票に付属の「 <u>推薦</u> 国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼付台紙に貼り付け、 2022年12月23日（金） 必着で、商学部の郵送先（70ページ）に簡易書留郵便で送付（郵送封筒は任意）してください。大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙（本学所定の様式（*））はA4サイズの白の用紙に印刷し、志願者本人が自筆で記入してください。

6 選抜方法

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、活動報告書）を総合して判定します。
個別学力検査等は課しません。

英語重点型の大学入学共通テスト利用教科・科目名

教 科	科 目 名	配 点
国語	「国語」	200
地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	100
数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	200
外国語	「英語」（注3）	300
（4教科5科目） 大学入学共通テストの配点合計		800

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

- (注3) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語（英語）の得点として、配点300点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点300点に換算します。

数学重点型の大学入学共通テスト利用教科・科目名

教科	科目名	配点
国語	「国語」	200
地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	100
数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	300
外国語	「英語」（注3）	200
（4教科5科目）		大学入学共通テストの配点合計
		800

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- (注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- (注2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
 なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
 ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- (注3) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

7 合格者発表日時

合格者発表日時
2023年2月14日（火）10:00

※62ページを参照してください。

8 入学手続日

入学手続は「来学」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

入学手続指定日
2023年2月20日（月）

※63～64ページを参照してください。

理学部

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」は、21世紀を「知識基盤社会」の時代と位置づけ、「人々の知的活動・創造力が最大の資源である我が国にとって、優れた人材の育成と科学技術の振興は不可欠」と提言している。国際競争が激化するこれからの社会において、科学技術の実力は、国力を左右すると言っても過言ではない。この答申を踏まえて、本学部は総合的理学部とし、研究大学を目指す本学の理系の教育・研究の中核を担う。世界第一線の研究成果を出し人類の知の最前線を切り拓くとともに、その研究活動を学部教育に還元し、次世代の我が国を担う優れた人材の育成・輩出を行うことを目的とする。本学部を卒業し関連領域における研究者や技術者を指すためには、柔軟な発想と論理的思考にもとづく課題発見能力と問題解決能力が必要である。

したがって、本学部では次のような学生を求めている。

- 1 数学や自然現象に対する強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

物理学科

本学科では、未解決の問題に論理的思考と柔軟性を持って挑む創造性豊かな人材を養成するという社会的要請に応えるために、幅広い教養教育、物理学の理論・実験の両面からの教育に、最先端の研究を組み合わせた系統的なカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 自然現象への好奇心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
- 2 物理学を学ぶための基礎的能力、自然の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、問題解決に向けての実行力、さらに自らの知識と考えを表現できる能力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、物理学に関係する分野で社会に貢献したい人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

化学科

化学は、物質の成り立ちと性質を原子・分子レベルで理解する学問である。化学の知識と技術は、医薬品・化成品、環境にやさしい機能性素材・電池などの私たちの生活と暮らしに役立つ数多くの有用な物質を生み出す、基幹学問として現代社会に必要な不可欠なものとなっている。本学科では、本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、化学の原理を理解し、化学を実践するために必要な基礎学力を身につけ、新しい化学を創発するための化学の知識と柔軟な思考力を備えた人材を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 化学実験や理論を含む化学の幅広い分野に興味をもち、勉学意欲に溢れる人
- 2 化学に関する知識を社会におけるさまざまな問題や課題の解決に役立て、社会の発展に貢献したいと考えている人
- 3 化学を学び、その活躍の場を地域社会や世界に広げていきたいと考えている人
- 4 他の科学分野や広く社会とつながりを持ち、社会の発展のための共生共存の道を探ることができる人
- 5 科学倫理を遵守し、研究を実践できる人

生物学科

本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、本学科では、生物学に関する基本原理の理解に必要な基礎学力を備え、柔軟な発想と論理的思考にもとづいて課題を発見し、それを解決する能力を持つ学生を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 生物及び生命現象に対する強い関心があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 生物学に関する論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野を持ちつつ、生物学に関わる専門知識に基づいて地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人
- 6 自らの考えを人に伝える能力を持つ人

地球学科

幅広い自然科学及び科学技術の知識と、これらを地球の探究に展開できる能力、またグローバルな視点に基づき多面的に思考できる能力が、自然環境や地球環境問題を理解する上で重要である。本学科では、自然環境や地球環境問題を多面的にまた時系列的に捉えるための理論的手法・実験的手法、野外での調査技術、得た知見を正確に伝える能力の修養を通じて、広く社会に貢献できる人材、及び大学院進学により更なる研究を志す人材を育成・輩出することを目的とする。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 地球への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
- 2 地球の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地球学に関係する分野で社会に貢献したい人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

生物化学科

本学科では、生命現象のメカニズムを分子論的に理解する学問である生物化学の関連領域で活躍する研究者や技術者などの人材の育成を目指す。そして、これらの人材に求められる柔軟な発想にもとづく課題発見能力と問題解決能力を身につけるために必要な講義、演習、実習からなるカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

- 1 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
- 2 生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
- 3 国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
- 4 コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
- 5 健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

※理学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

大学入学共通テストにより、高等学校における教科・科目を幅広く学習し、本学の基幹教育に十分に対応できる基礎学力（知識・技能、思考力・判断力）を有していることを評価する。小論文または／そして口述試験、出願書類により、論理的思考力・判断力・表現力を評価するとともに、理学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

1 募集人員（理学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員
物理学科	7 名
化学科	12 名
生物学科	9 名
地球学科	4 名
生物化学科	5 名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等

（1）出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を2023年3月に卒業見込みの者（留学等により、2022年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2023年3月31日までに修了見込みの者
- ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③ 令和5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
- ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

（2）各高等学校等で推薦できる人数は、各学科とも2名以内とします。

（注ア）高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。

- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
- ・学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第2号から第4号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関

ただし、同条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（2023年3月31日までに18歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査はインターネット出願登録期間の1か月前までに書類の提出が必要となりますので、杉本キャンパス入試課（06-6605-2141）に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022年10月28日（金）10:00 ～2022年11月4日（金）17:00	2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

4 出願書類等（*）がついた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html



書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票 (大学提出用)	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A 4 サイズの白の用紙に印刷してください (カラー印刷推奨)。
(2) 写真票及び縦 4 cm×横 3 cm の写真 (1 枚)	本学所定の様式 (*) に必要事項を記入し、写真 (上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの) を貼ってください。写真の裏に学部・学科、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式 (*) により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください (パソコン等での作成も可)。 志願者の学業、能力・適正、特別活動、取得資格及び特技等について客観的にそれらの活動内容の評価等を、また、志望学科に関連する基礎学力について 800 字以内で記入し片面で印刷してください。
(5) 志望理由書	本学所定の様式 (*) により、志願者本人が志望学科をめざす動機、自然科学の分野において特記すべき経験などを記入してください (800 字以内、パソコン等での作成も可、A 4 用紙片面印刷)。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A 4 サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒 (縦 33.2 cm×横 24 cm) に貼り付けてください (カラー印刷推奨)。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

5 大学入学共通テスト成績請求票 (出願期間終了後に提出)

書 類 種 別	注 意 事 項
令和 5 (2023) 年度大学入学 共通テスト成績請求票貼付台紙	12 月に大学入学共通テスト受験票が手元に届き次第、大学入学共通テスト受験票に付属の「 推薦 国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼付台紙に貼り付け、 2022 年 12 月 23 日 (金) 必着で、理学区の郵送先 (70 ページ) に簡易書留郵便で送付 (郵送封筒は任意) してください。大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙 (本学所定の様式 *) は A 4 サイズの白の用紙に印刷し、志願者本人が自筆で記入してください。

6 選抜方法

●物理学科

<第 1 次選考>

大学入学共通テスト、出願書類 (調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書) を総合して判定します。

<第 2 次選考>

大学入学共通テスト、小論文 (数学、物理、英語)、口述試験を総合して判定します。

<第 1 次選考>

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト (5 教科 7 科目)	国語	「国語」	100
	地理歴史・ 公民	「世界史 A」、「世界史 B」、「日本史 A」、「日本史 B」、「地理 A」、「地理 B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から 1 科目選択 (注 1)	50
	数学	「数学 I・数学 A」と 「数学 II・数学 B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から 1 科目 選択 計 2 科目 (注 2)	100
	理科	「物理」と 「化学」、「生物」、「地学」から 1 科目選択 計 2 科目	100
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1 科目選択 (注 3)	100
大学入学共通テストの配点合計			450
個別学力検査等	出願書類		50
配点合計			500

・2 科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

(注 1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を 1 科目と指定しているところを 2 科目受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。

(注 2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了 (見込み) 者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目 (「社会と情報」・「情報の科学」等) を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学 II」及び「数学 B」を設けていない場合に限り選択できます。

(注 3) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100 点、「リスニング」100 点の合計 200 点を「リーディング」150 点、「リスニング」50 点の合計 200 点に換算し、外国語 (英語) の得点として、配点 100 点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100 点を 200 点に換算し、配点 100 点に換算します。

英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200 点を配点 100 点に換算します。

＜第2次選考＞

試 験 の 区 分	教 科 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	100
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	50
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目（注2）	100
	理科	「物理」と 「化学」、「生物」、「地学」から1科目選択 計2科目	100
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択（注3）	100
	大学入学共通テストの配点合計		
個別学力検査等	小論文（数学、物理、英語）		200
	口述試験		200
	個別学力検査等の配点合計		400
配点合計			850

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・小論文は、「物理」・「数学」・「英語」の基礎学力を問い、口述試験は、学習意欲、学習能力等について行います。

- （注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- （注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
- ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- （注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語（英語）の得点として、配点100点に換算します。
- また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点100点に換算します。
- 英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点100点に換算します。

●化学科

＜第1次選考＞

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

＜第2次選考＞

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）、口述試験を総合して判定します。

＜第1次選考＞

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (4教科6科目)	国語	「国語」	100
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注1）	100
	理科	「物理」と「化学」計2科目	200
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択（注2）	150
	大学入学共通テストの配点合計		550
個別学力検査等	出願書類		100
配点合計			650

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- （注1） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
- ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- （注2） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語（英語）の得点として、配点150点に換算します。
- また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点150点に換算します。
- 英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点150点に換算します。

＜第2次選考＞

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (4教科6科目)	国語	「国語」	100
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目（注1）	100
	理科	「物理」と 「化学」計2科目	200
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択（注2）	150
	大学入学共通テストの配点合計		550
個別学力検査等	口述試験		200
	出願書類		100
	個別学力検査等の配点合計		300
配点合計			850

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・口述試験は、学習意欲、学習能力等について行います。

(注1) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

(注2) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点150点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点150点に換算します。

英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点150点に換算します。

●生物学科

＜第1次選考＞

大学入学共通テスト、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書)を総合して判定します。

＜第2次選考＞

大学入学共通テスト、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書)、口述試験を総合して判定します。

＜第1次選考＞

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (4教科6科目)	国語	「国語」	75
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目(注1)	75
	理科	「生物」と 「物理」、「化学」、「地学」から1科目選択 計2科目	300
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択(注2)	100
	大学入学共通テストの配点合計		550
個別学力検査等	出願書類		100
配点合計			650

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

(注1) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

(注2) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点100点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点100点に換算します。

英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点100点に換算します。

<第2次選考>

試験の区分	教科科	科目名	配点
大学入学共通テスト (4教科6科目)	国語	「国語」	75
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目（注1）	75
	理科	「生物」と 「物理」、「化学」、「地学」から1科目選択 計2科目	300
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択（注2）	100
	大学入学共通テストの配点合計		550
個別学力検査等	口述試験		200
	出願書類		100
	個別学力検査等の配点合計		300
配点合計			850

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・口述試験は、学習意欲、学習能力等について行います。

(注1) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

(注2) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点100点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点100点に換算します。

英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点100点に換算します。

●地球学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書)を総合して判定します。

<第2次選考>

大学入学共通テスト、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書)、口述試験を総合して判定します。

<第1次選考>

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	50
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択 (注1)	50
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目 (注2)	150
	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択	200
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択 (注3)	150
	大学入学共通テストの配点合計		600
個別学力検査等	出願書類		150
配点合計			750

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

(注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

(注2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

(注3) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算して、外国語(英語)の得点として、配点150点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点150点に換算します。

英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点150点に換算します。

＜第2次選考＞

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	50
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	50
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目（注2）	150
	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択	200
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択（注3）	150
	大学入学共通テストの配点合計		600
個別学力検査等	口述試験		250
	出願書類		150
	個別学力検査等の配点合計		400
	配点合計		1,000

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・口述試験は、学習意欲、学習能力等について行います。

- （注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- （注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
- ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- （注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算して、外国語（英語）の得点として、配点150点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点150点に換算します。
- 英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点150点に換算します。

●生物化学科

＜第1次選考＞

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

＜第2次選考＞

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）、口述試験を総合して判定します。

＜第1次選考＞

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	100
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	50
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	300
	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択	300
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択（注3）	200
	大学入学共通テストの配点合計		950
個別学力検査等	出願書類		250
配点合計			1,200

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- （注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- （注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
- ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- （注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

＜第2次選考＞

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	100
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	50
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目（注2）	300
	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択	300
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択（注3）	200
	大学入学共通テストの配点合計		950
	個別学力検査等	口述試験	
出願書類		250	
個別学力検査等の配点合計		550	
配点合計		1,500	

- ・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
- ・口述試験は、学習意欲、学習能力等について行います。

（注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

（注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

7 選抜期日（第1次選考合格者）

選 抜 期 日
2023年2月10日（金）

8 合格者発表日時

選 考 種 別	合 格 者 発 表 日 時
第1次選考	2023年2月8日（水）17：00
第2次選考	2023年2月14日（火）10：00

※61～62 ページを参照してください。

9 入学手続日

入学手続は「来学」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

入 学 手 続 指 定 日
2023年2月20日（月）

※63～64 ページを参照してください。

工学部

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

工学部は、「自由と進取の気風、新しい文化と産業の創造、世界雄飛」をモットーに、真理の探究と知の創造を重視し、自然環境と調和する科学技術の進展を図り、持続可能な社会の発展と文化の創造に貢献することを目指す。

このために、人と社会と自然に対する広い視野と深い知識をもち、豊かな人間性と高い倫理観および専門能力を兼ね備え、工学における重要な課題を主体的に認識して問題の解決に努め、社会の発展、福祉の向上および文化の創造に貢献できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、工学部では、学問を深く継続して学ぶ意欲に富み、人や自然を愛し、人類の持続可能な発展と世界平和に関わる未知の問題に果敢に立ち向かい、地球環境を守るという気概をもつ、次のような学生を求める。

- 1 工学を学ぶことに対する目的意識を明確にもち、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 自由闊達で何事にも興味をもち、主体的、積極的に学び、自ら新たな課題を見つけ研究をしていこうとする人
- 3 工学的諸問題への強い関心と、問題解決への目標意識をもっている人

以上のような、工学部の教育理念・目的にふさわしい次の1～4の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

- 1 高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
- 2 工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学、物理学、化学の素養を身に付けている人
- 3 英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身に付けている人
- 4 論理的に考える素養を身に付けている人

機械工学科

持続的な発展が可能な社会を構築していくことが求められる中で、人・環境と共存・共生する機械技術、機械システムの確立が必要不可欠となっている。そのために機械工学科では、機械工学を中心とした幅広い知識、技能と、豊かな人間性、倫理観を持ち、大阪から地球規模までの機械工学における重要な課題を、材料からシステム、環境、エネルギーまで、原子・分子レベルのナノ・マイクロスケールから社会のマクロスケールまで多角的、俯瞰的な視点で認識・考察して、主体的に克服・解決法を発想し、実践する人材を育成することを目指す。

したがって、機械工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

- 1 機械工学の幅広い技術・学術に強い関心があり、社会の持続可能な発展に貢献する意欲を持つ人
- 2 機械工学に関する専門知識と技術、論理的な思考力、豊かな創造力の獲得を目指し、勉学意欲を持つ人
- 3 機械工学に関する専門知識と技術をもとに、国際的な視野で豊かな社会の構築に貢献する意欲を持つ人
- 4 高い倫理観を持ち、機械工学に関する専門知識と技術を利用して、社会の諸問題の解決に意欲的に取り組む人

電子物理工学科

グローバル社会の持続可能な発展には、情報通信、エネルギー、交通等、多様な技術分野の進歩が不可欠である。これらに共通する基盤技術である、電子デバイスのさらなる高度化・高機能化、新規創成が様々な産業分野において求められている。そのような要求に応えるには、確固たる物理的基礎に立脚した電子技術に基づく、より独創的な発想が必要である。電子物理工学科は、このような社会的要請に応えるために、従来の電子工学の範疇を超える、電子材料、電子物性に力点を置いた教育を行うことで、幅広い物理的視野と電子技術の素養をもち、高い創造性を発揮できる人材を育成することを目指す。

したがって、電子物理工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え次のような学生を求める。

- 1 物理学や電気・電子工学に対する強い関心があり、専門知識と技術を体系的に学び、それを幅広い工学に応用することで社会の発展に貢献する意欲をもつ人
- 2 論理的な思考力と豊かな想像力の獲得を目指し、勉学意欲に溢れる人
- 3 物質がもつ電気、磁気、光などの物理学的性質の解明と新規機能の開拓、実験的また理論的解明などの幅広い電子・物理の科学技術に強い興味を持ち、主体的かつ積極的に学修・研究する意欲に溢れる人
- 4 外国語能力に優れ、国際的視野をもって新たな課題を見出し、その解決に積極的に挑戦する意欲をもつ人
- 5 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

応用化学科

持続可能な社会の発展に貢献するためには、地球環境に調和した、人類に役立つ新しい化学物質を創出していくことが必要である。そのために応用化学科では、物質の構造、性質、反応を原子・分子レベルから理解することを通して、基礎から最先端までの幅広い視野に立つて化学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、グローバルな視野を併せ持ち、技術革新にも適応することが出来る化学技術者・研究者を育てることを目標としている。

したがって、応用化学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求めている。

- 1 化学の基礎と応用について強い関心があり、持続可能な社会の発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 新しい物質や化学技術を創造するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
- 3 化学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって地球環境に調和した豊かな社会の構築に貢献できる人
- 4 高い倫理観を持ち、化学技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

マテリアル工学科

現代の文明を象徴する様々な機器は、目的に応じたいくつもの「材料」によって構成されている。すなわち、時代の進歩には新しい材料の設計と開発が求められている。マテリアル工学科では、豊かな社会を築くため、最先端の材料に関する教育研究を行うことにより、幅広い視野と豊かな人間性、深い教養と厳格な倫理観をもった国際的に活躍できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、マテリアル工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

- 1 科学・技術の基盤であるマテリアル工学に強い関心があり、地球環境と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
- 2 論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人
- 3 外国語能力に優れ、国際的視野をもって社会に貢献することを目指す人
- 4 高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

化学バイオ工学科

化学バイオ工学科では、物質・生命およびその変化を原子・分子レベルや遺伝子・細胞レベルで理解できる基本的考え方を身につけ、化学・バイオに関わる基礎理論と技術の実際を学ぶ。さらに、化学・バイオの先端領域で活躍し、かつ技術者としての責任感・倫理観を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成することを目指す。そのため、本学科ではいずれの選抜方法においても、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人を求める。

- 1 化学・バイオについての基礎知識を理解できる能力を有し、意欲的に勉学に取り組める人
- 2 化学現象や生命現象に対する興味と探究心が強く、新技術の開発に熱意を有する人
- 3 実験や自然観察が好きな人
- 4 論理的な記述、論理的な発表力など、研究能力とともにコミュニケーション能力を高める意欲を有する人
- 5 幅広い教養の習得に熱意をもち、倫理観をもって行動できる人

※工学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



入学者選抜の基本方針

上記のような学生を選抜するために、工学部のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを踏まえ、以下の選抜において様々な要素を測る。

【学校推薦型選抜】

機械工学科

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、機械工学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための基礎学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していること、工学の学修・研究に必要な数学、理科（物理・化学）、英語に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していること、工学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）を有していることを、調査書、志望理由書、推薦書、小論文、口述試験・面接、大学入学共通テストにより総合的に評価する。

電子物理工学科

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、電子物理工学科に必要な素養を有していること、工学の学修・研究に必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」「関心・意欲」を有していることを、大学入学共通テスト、口述試験・面接、出願書類等により総合的に測る。

応用化学科

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、応用化学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための高い基礎学力を有していることを、調査書、推薦書によって評価する。また、論理的な思考力、日本語による高度な表現能力及び英語に関する素養を有していることを、小論文、口述試験・面接によって評価する。

マテリアル工学科

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、マテリアル工学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための高い基礎学力を有していることを、調査書、推薦書によって評価する。また、修学に必要な基礎的な知識を有していることを、大学入学共通テスト、口述試験・面接によって評価する。

化学バイオ工学科

化学バイオ工学科に必要な素養および基礎学力を有していることを、大学入学共通テスト、口述試験・面接、小論文、調査書等により総合的に評価する。特に、大学入学共通テストでは、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を測り、小論文を含む出願書類および口述試験・面接では、「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」「関心・意欲」を測る。

1 募集人員（工学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員
機械工学科	3名
電子物理工学科	3名
応用化学科	3名
マテリアル工学科	3名
化学バイオ工学科	2名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。ただし、応用化学科、マテリアル工学科、化学バイオ工学科については、一般選抜（中期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等

●機械工学科

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を2023年3月に卒業見込みの者（留学等により、2022年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2023年3月31日までに修了見込みの者
- ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0（5点満点）以上で、かつ「数学Ⅲ、物理基礎、物理、化学基礎」を履修している者
- ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ④ 令和5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）

- ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
 (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、1名とします。

●電子物理工学科/マテリアル工学科

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
 ① 高等学校等(注ア)を2023年3月に卒業見込みの者(留学等により、2022年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた(見込み)者を含む。)又は通常の課程による12年の学校教育を2023年3月31日までに修了見込みの者
 ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0(5点満点)以上で、かつ「数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、物理基礎、物理、化学基礎、化学」を履修している者
 ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 ④ 令和5(2023)年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者(受験する予定の者を含む。)
 ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
 (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、電子物理工学科は1名、マテリアル工学科は2名以内とします。

●応用化学科

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
 ① 高等学校等(注ア)を2022年3月に卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者(留学等により、2021年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた(見込み)者を含む。)又は通常の課程による12年の学校教育を2022年3月以降に修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
 ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0(5点満点)以上、「数学及び理科」又は「理数」の学習成績の状況が4.2(5点満点)以上、かつ「数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、物理基礎、物理、化学基礎、化学」を履修している者
 ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
 (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は2名以内、その他の高等学校等は1名とします。

●化学バイオ工学科

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
 ① 高等学校等(注ア)を2023年3月に卒業見込みの者(留学等により、2022年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた(見込み)者を含む。)又は通常の課程による12年の学校教育を2023年3月31日までに修了見込みの者
 ② 調査書の全体の学習成績の状況が4.0(5点満点)以上で、かつ「数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、物理基礎、化学基礎、生物基礎、化学、物理又は生物のどちらか」を履修している者
 ③ 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 ④ 令和5(2023)年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者(受験する予定の者を含む。)
 ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
 (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、2名以内とします。

- (注ア) 高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。
 ・高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)
 ・学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第2号から第4号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関
 ただし、同条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの(2023年3月31日までに18歳に達するものを含む。)」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査はインターネット出願登録期間の1か月前までに書類の提出が必要となりますので、工学部担当(072-252-6305)に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022年10月28日(金) 10:00 ～2022年11月4日(金) 17:00	2022年11月1日(火)～2022年11月4日(金) 【簡易書留郵便(速達可)にて必着】

4 出願書類等

(*) がついた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html



書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票 (大学提出用)	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A 4 サイズの白の用紙に印刷してください (カラー印刷推奨)。
(2) 写真票及び縦 4 cm×横 3 cm の写真 (1 枚)	本学所定の様式 (*) に必要事項を記入し、写真 (上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの) を貼ってください。写真の裏に学部・学科、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式 (*) により、出身学校長が作成し片面で印刷して厳封したものを提出してください (パソコン等での作成も可)。
(5) 志望理由書 ＜機械工学科＞ ＜マテリアル工学科＞	本学所定の様式 (*) により、志願者本人が作成してください (パソコン等での作成も可)。
(6) 小論文 ＜化学バイオ工学科＞	本学所定の様式 (*) により、志願者本人が作成してください (パソコン等での作成も可)。
(7) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A 4 サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒 (縦 33.2 cm×横 24 cm) に貼り付けてください (カラー印刷推奨)。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

5 大学入学共通テスト成績請求票 (出願期間終了後に提出)

書 類 種 別	注 意 事 項
令和 5 (2023) 年度大学入学 共通テスト成績請求票貼付台紙 ＜機械工学科＞ ＜電子物理工学科＞ ＜マテリアル工学科＞ ＜化学バイオ工学科＞	12月に大学入学共通テスト受験票が手元に届き次第、大学入学共通テスト受験票に付属の「 推薦 国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼付台紙に貼り付け、 2022年12月23日 (金) 必着で、工学部の郵送先 (70ページ) に簡易書留郵便で送付 (郵送封筒は任意) してください。大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙 (本学所定の様式 (*)) は A 4 サイズの白の用紙に印刷し、志願者本人が自筆で記入してください。

6 選抜方法

●機械工学科

大学入学共通テスト、小論文、口述試験・面接、出願書類 (調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書) を総合して判定します。

※ 志願者数が募集人員の 6 倍を超えた場合、第 1 次選考を実施することがあります。その場合、出願書類の総合得点により第 1 次選考を実施し、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。

第 1 次選考を実施する場合

＜第 1 次選考＞

個 別 学 力 検 査 等	配 点
出願書類	200

＜第 2 次選考＞

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	140
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択(注1)	60
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目(注2)	130
	理科	「物理」と 「化学」計2科目	130
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択(注3)	140
	大学入学共通テストの配点合計		600
個別学力検査等	小論文		100
	口述試験・面接		100
	出願書類		200
	個別学力検査等の配点合計		400
配点合計			1,000

・ 2 科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

(注 1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を 1 科目と指定しているところを 2 科目受験した場合は、第 1 解答科目の得点を採用します。

(注 2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了 (見込み) 者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

- （注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語（英語）の得点として、配点140点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点140点に換算します。

英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点140点に換算します。

第1次選考を実施しない場合

試験の区分	教科科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	140
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	60
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目（注2）	130
	理科	「物理」と 「化学」計2科目	130
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択（注3）	140
	大学入学共通テストの配点合計		600
個別学力検査等	小論文		100
	口述試験・面接		100
	出願書類		200
	個別学力検査等の配点合計		400
配点合計			1,000

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- （注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

- （注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

- （注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語（英語）の得点として、配点140点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点140点に換算します。

英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点140点に換算します。

●電子物理工学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書）を総合して判定します。

<第2次選考>

大学入学共通テスト、口述試験・面接を総合して判定します。

<第1次選考>

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	140
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	60
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	130
	理科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択	130
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択（注3）	140
	大学入学共通テストの配点合計		600
個別学力検査等	出願書類		100
配点合計			700

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- (注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- (注2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
 なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
 ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- (注3) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点140点に換算します。
 また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点140点に換算します。
 英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点140点に換算します。

＜第2次選考＞

試 験 の 区 分	教 科 科 目 名	配 点	
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	140
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	60
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	130
	理科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択	130
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択（注3）	140
	大学入学共通テストの配点合計		600
	個別学力検査等	口述試験・面接	400
配点合計			1,000

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- (注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- (注2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
 なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
 ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- (注3) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点140点に換算します。
 また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点140点に換算します。
 英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点140点に換算します。

●応用化学科

小論文、口述試験・面接、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書)を総合して判定します。
 大学入学共通テストは課しません。

個別学力検査等	配点
小論文	150
口述試験・面接	100
配点合計	250

●マテリアル工学科

大学入学共通テスト、口述試験・面接、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (4教科6科目)	国語	「国語」	100
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」計2科目	100
	理科	「物理」と 「化学」計2科目	100
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から 1科目選択（注）	100
	大学入学共通テストの配点合計		400
個別学力検査等	口述試験・面接		300
	出願書類		100
	個別学力検査等の配点合計		400
	配点合計		800

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語（英語）の得点として、配点100点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点100点に換算します。

英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点100点に換算します。

●化学バイオ工学科

大学入学共通テスト、口述試験・面接、出願書類（小論文、調査書、出身学校長の推薦書）を総合して判定します。

※ 志願者数が募集人員の10倍を超えた場合、第1次選考を実施することがあります。その場合、出願書類（小論文含む）の総合得点により第1次選考を実施し、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。

第1次選考を実施する場合

<第1次選考>

個別学力検査等	配点
小論文（出願時に提出）	100
出願書類	100
配点合計	200

<第2次選考>

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	60
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	40
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	200
	理科	「化学」と 「物理」、「生物」から1科目選択 計2科目	200
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択（注3）	200
	大学入学共通テストの配点合計		700
	小論文（出願時に提出）		100
個別学力検査等	口述試験・面接		200
	出願書類		100
	個別学力検査等の配点合計		400
	配点合計		1,100

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

（注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

第1次選考を実施しない場合

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	60
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	40
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	200
	理科	「化学」と 「物理」、「生物」から1科目選択 計2科目	200
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目 選択（注3）	200
	大学入学共通テストの配点合計		700
個別学力検査等	小論文（出願時に提出）		100
	口述試験・面接		200
	出願書類		100
	個別学力検査等の配点合計		400
配点合計			1,100

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- （注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- （注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
- ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- （注3） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

7 選抜期日

学 科	選 抜 期 日
機械工学科/応用化学科/マテリアル工学科	2022年11月19日（土）
電子物理工学科/化学バイオ工学科	2023年2月10日（金）

8 合格者発表日時

学 科	選 考 種 別	合 格 者 発 表 日 時
機械工学科※	第1次選考	2022年11月11日（金）10：00
電子物理工学科		2023年2月8日（水）17：00
化学バイオ工学科※		2022年12月1日（木）10：00
機械工学科/電子物理工学科	第2次選考・最終選考	2023年2月14日（火）10：00
応用化学科		2022年12月1日（木）10：00
マテリアル工学科/化学バイオ工学科		2023年2月14日（火）10：00

※第1次選考を実施する場合のみ
※61～62 ページを参照してください。

9 入学手続日

応用化学科は「郵送」により、機械工学科、電子物理工学科、マテリアル工学科、化学バイオ工学科は「来学」により入学手続を行います。詳細については、別途合格者に案内します。

学 科	種 別	受 付 期 間 ・ 入 学 手 続 指 定 日
応用化学科	郵送	2022年12月7日（水）～2022年12月13日（火）【必着】
機械工学科/電子物理工学科/ マテリアル工学科/化学バイオ工学科	来学	2023年2月20日（月）

※63～64 ページを参照してください。

農学部

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

今日、人類は国内外の様々な課題、すなわち、エネルギー、環境、食料、健康などに関する諸問題に直面している。農学は生物の機能と生命現象の解明や応用に加えて、自然環境、自然現象の理解、また、それらの調和と持続的な利用など多岐にわたる学問分野を内包しており、人類が抱えている諸問題解決への貢献が期待されている。そこで、農学部では広範な農学に関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、農学部では次のような学生を求めている。

- 1 農学について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
 - 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
 - 3 幅広い興味を持ち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人
- 以上にに基づき、各学科が求める能力や適性を持つ学生を選抜する。

応用生物科学科

応用生物科学科は、生物の多様な潜在能力を明らかにし、その成果を人類の生活に役立てるための幅広い教育を行う。このような教育を通して、生物科学を活用できる専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、応用生物科学科では次のような学生を求めている。

- 1 生物科学を持続可能な社会の構築へ役立てることに対する明確な目的意識を持ち、その学びのための基礎的知識を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 他の専門分野とも柔軟に連携しながら、健全な社会の発展に貢献したいと考えている人

以上にに基づき、次の1～5の能力や適性を持つ学生を選抜する。

- 1 物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学び、高い学力を有すること
- 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
- 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること
- 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
- 5 自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

生命機能化学科

生命機能化学科は、化学を基盤とした生命現象の解明と生物資源の利用に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、広範なバイオサイエンス・バイオテクノロジーに関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、生命機能化学科では次のような学生を求めている。

- 1 バイオサイエンス・バイオテクノロジーについて学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、そのための基礎的知識を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 他の専門分野とも柔軟に連携しながら、社会の持続的発展に貢献したいと考えている人

以上にに基づき、次の1～5の能力や適性を持つ学生を選抜する。

- 1 物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学び、高い学力を有すること
- 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
- 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること
- 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
- 5 自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

緑地環境科学科

緑地環境科学科は、生命の基盤となる農地や自然地、生活の基盤となる都市の緑地について、その保全・創成に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、緑地環境の保全と創成についての専門的知識や技術とともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、緑地環境科学科では次のような学生を求めている。

- 1 緑地環境の保全と創成について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
- 3 幅広い興味をもち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人

以上にに基づき、次の1～5の能力や適性をもつ学生を選抜する。

- 1 物理、化学、生物のいずれかについて深く学び、高い学力を有すること
- 2 データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
- 3 学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容の発表のための英語や国語の基礎学力を身に付けていること
- 4 その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
- 5 自ら進んで学ぶための主体性を有し、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する能力と学内外の社会的な活動に参加しうる多様性・協働性を備えていること



入学選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

応用生物科学科／生命機能化学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、大学入学共通テスト及び調査書によって評価する。物理、化学、生物のうち少なくとも2科目について深く学んでいることを、大学入学共通テストの理科によって評価する。数学の基礎学力を備えていることを、大学入学共通テストの数学によって評価する。英語や国語の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの外国語（英語）と国語によって評価する。思考力・判断力及び表現力を有していることを、志望理由書によって評価する。様々な課題について他者と協働的に取り組む姿勢と、高い探求心及び勉強意欲を備えていることを、調査書及び活動報告書で評価する。

緑地環境科学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、大学入学共通テスト及び調査書によって評価する。物理、化学、生物のいずれかについて深く学んでいることを、大学入学共通テストの理科によって評価する。数学の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの数学によって評価する。英語及び国語の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの外国語（英語）と国語によって評価する。論理的な思考力、判断力及び表現力を有していることを、個別学力検査の小論文によって評価する。学修のための主体性、社会活動のための多様性・協働性を有していることを、調査書、活動報告書、面接によって評価する。

1 募集人員（農学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員	受 験 区 分 等
応用生物科学科	10 名	大阪府内枠 5 名、全国枠 5 名
生命機能化学科	10 名	大阪府内枠 5 名、全国枠 5 名
緑地環境科学科	10 名	大阪府内枠 4 名、全国枠 6 名

（注1）大阪府内枠で出願した者は、全国枠にも併願した者として出願を受理します。

（注2）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等

●応用生物科学科

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2023 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2022 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、応用生物科学に対する高い関心と本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は 2 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。
- (3) 大阪府内枠で出願できるのは、大阪府内の高等学校等を卒業見込みの者です。
- (4) 大阪府内枠で不合格となった者は、全国枠に該当する者と共に再度選抜します。

●生命機能化学科

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2023 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2022 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は 2 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。
- (3) 大阪府内枠で出願できるのは、大阪府内の高等学校等を卒業見込みの者です。
- (4) 大阪府内枠で不合格となった者は、全国枠に該当する者と共に再度選抜します。

●緑地環境科学科

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2023 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2022 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内外にかかわらず 1 名とします。
- (3) 大阪府内枠で出願できるのは、大阪府内の高等学校等を卒業見込みの者です。
- (4) 大阪府内枠で不合格となった者は、全国枠に該当する者と共に再度選抜します。

- (注ア) 高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。
- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
 - ・学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第2号から第4号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関
- ただし、同条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（2023年3月31日までに18歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査はインターネット出願登録期間の1か月前までに書類の提出が必要となりますので、農学部担当（072-254-9202）に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022年10月28日（金）10:00 ～2022年11月4日（金）17:00	2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

4 出願書類等 本学所定の様式（＊）は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html	
--	---

書類種別	注意事項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、出願サイトからA4用紙に印刷したもの
(2) 写真票及び縦4cm×横3cmの写真（1枚）	本学所定の様式（＊）に必要事項を記入し、写真（上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの）の裏に学科、氏名を記入し貼り付けたもの
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したもの
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式（＊）により、出身学校長が作成し厳封したもの（パソコン等での作成も可）。印刷は片面・両面を問いません。
(5) 志望理由書 ＜応用生物科学学科＞ ＜生命機能化学科＞	本学所定の様式（＊）により、志願者本人が自筆で記入したもの
(6) 活動報告書 ＜応用生物科学学科＞ ＜生命機能化学科＞ ＜緑地環境科学学科＞	本学所定の様式（＊）により、志願者本人が自筆で記入したもの
(7) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、出願サイトから宛名ラベルをA4用紙に印刷し、角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に貼り付けたもの

※厳封書類は、可能な限り1つの封筒にまとめてください。

5 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後に提出 2022年12月23日（金）必着）

書類種別	注意事項
令和5（2023）年度大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙	本学所定の様式（＊）に氏名と受験番号を記入し、大学入学共通テスト受験票に付属の「推薦国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼り付けたもの。任意の封筒を用意し、農学部の郵送先（70ページ）に簡易書留で郵送してください。差出人には学科も書き添えてください。

6 選抜方法

●応用生物科学学科

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書、活動報告書）を総合して判定します。個別学力検査は課しません。

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト （5教科7科目）	国語	「国語」	100
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	100
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」計2科目	200
	理科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択	200
	外国語	「英語」（注2）	200
	大学入学共通テストの配点合計		800
個別学力検査等	出願書類		200
配点合計			1,000

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注1）「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注2）「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」

150 点、「リスニング」50 点の合計 200 点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100 点を 200 点に換算します。

●生命機能化学科

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書、活動報告書）を総合して判定します。
個別学力検査は課しません。

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	100
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	100
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」計2科目	200
	理科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択	200
	外国語	「英語」（注2）	200
	大学入学共通テストの配点合計		800
個別学力検査等	出願書類		200
配点合計			1,000

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- （注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- （注2） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

●緑地環境科学科

大学入学共通テスト、小論文、面接、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、活動報告書）を総合して判定します。

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	100
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	100
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」計2科目	200
	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択	200
	外国語	「英語」（注2）	100
	大学入学共通テストの配点合計		700
	個別学力検査等	小論文	
面接			100
出願書類			100
個別学力検査等の配点合計		300	
配点合計			1,000

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- （注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- （注2） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

7 選抜期日

学 科	選 抜 期 日
緑地環境科学科	2022 年 11 月 19 日（土）

8 合格者発表日時

合 格 者 発 表 日 時
2023 年 2 月 14 日（火）10：00

※62 ページを参照してください。

9 入学手続日

入学手続は「来学」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

入 学 手 続 指 定 日
2023 年 2 月 20 日（月）

※63～64 ページを参照してください。

獣医学部

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

本学部は、本教育課程を卒業するためには、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学と臨床獣医学の各科目群の習得を課すと共に、加えて獣医師としての実践能力と動物生命科学者としての研究能力を醸成させる教育を行う。このような教育を通して、単なる動物の専門家たる獣医師ではなく、動物生命科学の専門性を有しつつも、国際社会が抱える人文科学分野、生命科学分野の諸問題の解決能力をも有する人材の育成を目指す。

したがって、本学部・学科では、次のような学生を求める。

- 1 動物に対する先端医療、人間と動物の共生、国内及び国際的に問題となっている感染症、及び安全な食料の安定供給について学ぶことに明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
- 2 生物学、科学全般に幅広い興味を持ち、論理的な思考力・判断力・表現力と自ら進んで学ぶ探求心を持っている人

以上に基つき、次の1～3の能力や適性をもつ学生を選抜する。

- 1 大学入学共通テストを課すことによって、高等学校教育において習得すべき科目の内容を広く学習し、高い基礎学力を有していることを確認する。
- 2 個別学力検査によって、数学、英語、生物学、物理学、化学に関する思考力・判断力・表現力を確認する。
- 3 特別選抜では、調査書、推薦書、志望理由書、活動報告書、英語4技能試験成績証明書、面接、小論文等により、獣医師としての適性、論理的な思考力、科学全般への幅広い興味や自ら進んで学ぶ探求心、さらに多様な人々と協働して学ぶ態度や国際的な視野を持っているかを確認する。

※獣医学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



入学者選抜の基本方針

学生の選抜方法は一般選抜の前期日程に加えて4種類の特別選抜を用意し、多様な人材の受け入れを目指す。一般選抜前期日程では高い基礎学力と論理的な思考力・判断力・表現力を有する学生を求める。特別選抜の学校推薦型選抜では、前述の基礎学力等に加えて、獣医学への関心と学習意欲が高く、世界の獣医療、獣医学において指導的役割を担う獣医師、獣医学研究者になろうという志を持つ学生を受け入れる。帰国生徒・私費外国人留学生特別選抜では海外での学習経験を有し、国際的な視野を持つ学生を受け入れる。特別選抜の産業動物獣医師地域枠では、卒業後に産業動物獣医師に就業する意志が明確な学生を求める。なお、外国人留学生特別選抜では日本留学試験の成績提出を課すことで、十分な日本語能力を有することを評価した上で選抜する。

1 募集人員（獣医学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員
5 名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えられます。

2 出願資格・出願要件等

（1）出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を2023年3月に卒業見込みの者（留学等により、2022年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による12年の学校教育を2023年3月31日までに修了見込みの者
- ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学部での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③ 国際的な視野を持ち、世界の獣医療、獣医学において指導的役割を担う獣医師、獣医学研究者になろうという志をもつ者
- ④ 令和5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
- ⑤ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- ⑥ 2020年4月以降の「英検、英検 CBT、英検 S-CBT」又は「GTEC CBT」を受験し、「英検、英検 CBT、英検 S-CBT」の場合は2級以上、「GTEC CBT」の場合は690点以上を満たす者※

（2）各高等学校等で推薦できる人数は1名とします。

※出願時までに必ず有効なスコア証明書（英検合格証明書、英検 CSE スコア証明書、GTEC CBT OFFICIAL SCORE CERTIFICATE のいずれか1通）を用意してください。**有効なスコア証明書がなければ、出願できません。**

（注ア） 高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。

- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
- ・学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第2号から第4号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関

ただし、同条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（2023年3月31日までに18歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査はインターネット出願登録期間の1か月前までに書類の提出が必要となりますので、獣医学部担当（072-254-9202）に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022年10月28日(金) 10:00 ～2022年11月4日(金) 17:00	2022年11月1日(火)～2022年11月4日(金) 【簡易書留郵便(速達可)にて必着】

4 出願書類等 本学所定の様式(*)は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶ https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html	
--	---

書 類 種 別	注 意 事 項							
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、出願サイトから A4 用紙に印刷したもの							
(2) 写真票及び縦 4 cm×横 3 cm の写真（1 枚）	本学所定の様式（※）に必要事項を記入し、写真（上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）の裏に学部、氏名を記入し貼り付けたもの							
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したもの							
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式（※）により、出身学校長が作成し厳封したもの（パソコン等での作成も可）。印刷は片面・両面を問いません。							
(5) 志望理由書	本学所定の様式（※）により、志願者本人がパソコン等で作成したもの							
(6) 活動報告書	本学所定の様式（※）により、志願者本人がパソコン等で作成したもの Web サイト（出願関係書類一覧）の「活動報告書記入の手引き」を参照してください。							
(7) 英検合格証明書、英検 CSE スコア証明書、GTEC CBT OFFICIAL SCORE CERTIFICATE のいずれか 1 通の原本	2020 年 4 月以降に受験した証明書の原本。 コピーや Web 上からダウンロードされた成績証明書は認めません。							
	有効なスコア証明書							
	<table><tr><td rowspan="3">英検</td><td>○</td><td>合格証明書</td></tr><tr><td>○</td><td>4 技能全てが記載された CSE スコア証明書 (CBT・S-CBT・従来型 2 次試験が不合格)</td></tr><tr><td>×</td><td>3 技能のみが記載された CSE スコア証明書 (従来型 1 次試験が不合格)</td></tr></table>	英検	○	合格証明書	○	4 技能全てが記載された CSE スコア証明書 (CBT・S-CBT・従来型 2 次試験が不合格)	×	3 技能のみが記載された CSE スコア証明書 (従来型 1 次試験が不合格)
	英検		○	合格証明書				
			○	4 技能全てが記載された CSE スコア証明書 (CBT・S-CBT・従来型 2 次試験が不合格)				
×		3 技能のみが記載された CSE スコア証明書 (従来型 1 次試験が不合格)						
GTEC	○	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE						
(8) スコア証明書返却用レターバック	レターバックプラス（赤色、520 円）にお届け先の郵便番号、住所、氏名を記入し、2 つ折りにしたもの。出願書類に同封してください。							
(9) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、出願サイトから宛名ラベルを A4 用紙に印刷し、角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けたもの							

※厳封書類は、可能な限り 1 つの封筒にまとめてください。

5 大学入学共通テスト成績請求票(出願期間終了後に提出 2022 年 12 月 23 日(金) 必着)

書類種別	注意事項
令和 5 (2023) 年度大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙	本学所定の様式(*)に氏名と受験番号を記入し、大学入学共通テスト受験票に付属の「 <u>推薦</u> 国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼り付けたもの。任意の封筒を用意し、獣医学部の郵送先(70 ページ)に簡易書留で郵送してください。差出人には学科も書き添えてください。

6 選抜方法

大学入学共通テスト、小論文、面接、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書、活動報告書、「英検、英検 CBT、英検 S-CBT 又は GTEC CBT」)を総合して判定します。

※志願者数が募集人員の 5 倍を超えた場合、第 1 次選考を実施することがあります。その場合、出願書類の総合得点により第 1 次選考を実施し、その合格者のみが本学の個別学力検査等を受験することができます。

第 1 次選考を実施する場合

<第 1 次選考>

個別学力検査等	配点
出願書類	50

<第2次選考>

試 験 の 区 分	教 科 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	40
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	20
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目（注2）	40
	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択	40
	外国語	「英語」（注3）	40
	大学入学共通テストの配点合計		180
個別学力検査等	小論文		50
	面接（注4）		100
	出願書類		50
	個別学力検査等の配点合計		200
配点合計			380

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- (注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- (注2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
 なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
 ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- (注3) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点40点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点40点に換算します。
- (注4) 面接は100点の配点を設けるとともに、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき「合」「否」でも判定します。面接の結果により、獣医学を修学する上での適性に欠けると判断された場合は合計点にかかわらず不合格とします。

第1次選考を実施しない場合

試 験 の 区 分	教 科 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト (5教科7科目)	国語	「国語」	40
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択(注1)	20
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目(注2)	40
	理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目選択	40
	外国語	「英語」(注3)	40
	大学入学共通テストの配点合計		180
個別学力検査等	小論文		50
	面接(注4)		100
	出願書類		50
	個別学力検査等の配点合計		200
配点合計			380

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- (注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- (注2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
 なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
 ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- (注3) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点40点に換算します。

また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点40点に換算します。

- (注4) 面接は100点の配点を設けるとともに、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」でも判定します。面接の結果により、獣医学を修学する上での適性に欠けると判断された場合は合計点にかかわらず不合格とします。

7 選抜期日

選 抜 期 日
2022年11月19日（土）

8 合格者発表日時

選 考 種 別	合 格 者 発 表 日 時
第1次選考（第1次選考を実施する場合のみ）	2022年11月11日（金）10：00
第2次選考・最終選考	2023年2月14日（火）10：00

※61～62 ページを参照してください。

9 入学手続日

入学手続は「**来学**」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

入 学 手 続 指 定 日
2023年2月20日（月）

※63～64 ページを参照してください。

医学部

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

リハビリテーション学科

人が地域社会において健康で文化的な生活を営むためには、身体的、精神的、社会的に良好な状態で生活できることが大切である。ライフステージで生じる子育て、教育、医療、介護等の問題は複雑で多様化している。その中において保健・医療・福祉の領域では、複雑化したシステムと専門分化した知識・技術を根幹にあるべきヒューマニズムと調和、発展させることが求められている。リハビリテーション学科では、理学療法士、作業療法士として、人と社会に対する包括的視野と、人を支援する専門的かつ協働的な実践力を身に付け、地域社会及び国際社会において人々の健康と福祉の向上に寄与する人材を養成する。

したがって、リハビリテーション学科では、次のような有能で活力ある学生を求めている。

- 1 人との関わりを大切にし、相手に対する思いやりや愛情を適切に表現できるとともに、相手の主張や気持ちを受けとめる包容力をもった人
- 2 学問に対する興味と探究心をもち、知識と技術の習得に積極的に取り組む人
- 3 将来、リハビリテーションを総合的にとらえることのできる理学療法士、作業療法士として、人々の保健・医療・福祉に貢献しようとする熱意をもった人
- 4 国際的視野をもって広く社会に貢献することをめざす人

《理学療法学専攻》

理学療法学は、病気、けが、高齢等によって運動機能が低下した状態にある人々に対し、身体機能を科学的に評価して治療する理論と技術の体系である。理学療法では、相手の立場を思いやる豊かな感性と、高度な問題解決能力が求められる。理学療法学専攻では、身体の構造や機能及び疾病に関する幅広い学問を修得し、リハビリテーション医療や地域医療の最前線に立ち得る高度な専門的能力、総合判断力、研究能力を有した理学療法士を養成する。

したがって、理学療法学専攻では次のような学生を求めている。

- 1 人との関わりを大切にし、相手に対する思いやりや愛情を適切に表現できるとともに、相手の主張や気持ちを受けとめる包容力をもった人
- 2 身体機能や運動を科学することに強い関心をもち、知識と技術の習得に積極的に取り組む人
- 3 将来、理学療法士として、リーダーシップを発揮し、保健、医療、福祉、研究、教育の分野に積極的に貢献しようとする熱意をもった人
- 4 国際的視野をもって広く社会に貢献することをめざす人

また、理学療法学専攻では、文理ともに広く学習し、英文を読解し、英文で表現するための知識・技能、他者理解とコミュニケーションの基礎となる思考力・判断力・表現力、さらに、理学療法学を学ぶ上で必要となる主体性・多様性・協働性を有している学生を選抜する。

《作業療法学専攻》

作業療法学は、乳幼児から高齢者までの身体や精神に障がいのある方々、またはそれが予測される方々の主体的な日常生活能力・社会適応能力の獲得を目的とした治療、指導の理論と技術の体系である。作業療法では、対象者（児）の機能だけでなく、個人の考えや生活環境、社会環境を把握する能力も求められる。作業療法学専攻では、人々の活動と心身機能、環境との関係、脳の働き、発達や老化等の知識に基づく実践技術と研究能力、さらに対象者（児）に寄り添う「こころ」を有し、地域社会の保健、医療、福祉及び教育分野においてリーダーシップを発揮できる作業療法士を養成する。

したがって、作業療法学専攻では次のような学生を求めている。

- 1 人との関わりを大切にし、相手に対する思いやりや愛情を適切に表現できるとともに、相手の主張や気持ちを受けとめる包容力をもった人
- 2 人々の作業と健康に高い関心をもち、作業療法の知識と技術の習得に積極的に取り組む人
- 3 将来、作業療法士として地域社会の保健、医療、福祉、研究、教育に貢献しようとする熱意をもった人
- 4 国際的視野をもって広く社会に貢献することをめざす人

また、作業療法学専攻では、文理ともに広く学習し、英文を読解し、英文で表現するための知識・技能を有し、他者理解とコミュニケーションの基礎となる思考力・判断力・表現力、さらに、作業療法学を学ぶ上で必要となる主体性・多様性・協働性を有している学生を選抜する。

※医学部リハビリテーション学科の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



入学者選抜の基本方針

【学校推薦型選抜】

理学療法学専攻/作業療法学専攻

高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、高い知識・技能を有していることを、大学入学共通テストによって評価する。思考力・判断力・表現力及び主体性・多様性・協働性を有していることを、面接及び調査書、推薦書等によって評価する。

1 募集人員（医学部リハビリテーション学科は、専攻単位で募集します。）

専攻	募集人員
理学療法学専攻	8名
作業療法学専攻	8名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
- ① 高等学校等（注ア）を 2023 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2022 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - ② リハビリテーション医療に関する知識と技術の修得に熱意をもち、学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学科での勉学に強い意欲をもち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和 5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は制限なし、その他の高等学校等は専攻あたり 3 名以内とします。

- （注ア） 高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。
- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
 - ・学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 2 号から第 4 号及び第 7 号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関
- ただし、同条第 7 号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの（2023 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査は出願期間の 1 か月前までに書類の提出が必要となりますので、医学部リハビリテーション学科担当（072-950-2117）に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022 年 10 月 28 日（金）10:00 ～2022 年 11 月 4 日（金）17:00	2022 年 11 月 1 日（火）～2022 年 11 月 4 日（金） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

4 出願書類等 （*）がついた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html



書 類 種 別	注 意 事 項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A 4 サイズの白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票及び縦 4 cm×横 3 cm の写真（1 枚）	本学所定の様式（*）に必要事項を記入し、写真（上半身無帽正面で、出願日より 3 か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部・学科・専攻、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式（*）により、出身学校長が作成し両面で印刷して厳封したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。
(5) 志望理由書	本学所定の様式（*）により、志願者本人が自筆で記入してください。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A 4 サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形 2 号封筒（縦 33.2 cm×横 24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1 つの封筒にまとめても構いません。

5 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後に提出）

書 類 種 別	注 意 事 項
令和 5（2023）年度大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙	12 月に大学入学共通テスト受験票が手元に届き次第、大学入学共通テスト受験票に付属の「 推薦 国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼付台紙に貼り付け、 2022 年 12 月 23 日（金） 必着で、医学部リハビリテーション学科の郵送先（70 ページ）に簡易書留郵便で送付（郵送封筒は任意）してください。大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙（本学所定の様式（*））は A 4 サイズの白の用紙に印刷し、志願者本人が自筆で記入してください。

6 選抜方法

大学入学共通テスト、面接、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

●理学療法学専攻

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (4教科5又は6科目)	国語	「国語」	200
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」、「物理」、「化学」、「生物」から1科目又は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2科目選択	*100
	理科		
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目(注1)	200
	外国語	「英語」(注2)	200
大学入学共通テストの配点合計			700
個別学力検査等	面接		300
配点合計			1,000

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

・*印を付した配点は、選択教科を表します。

「地理歴史・公民」及び「理科」から1科目を選択してください。ただし、物理基礎、化学基礎、生物基礎の場合は2科目選択してください。

「地理歴史・公民」及び「理科」を複数(指定数以上)受験した場合は、次のうちから得点の高いものを採用します。

- (1) 「地理歴史・公民」の第1解答科目
- (2) 「理科」の「基礎を付した科目」2科目
- (3) 「理科」の「基礎を付していない科目」の第1解答科目

(注1) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

(注2) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

●作業療法学専攻

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (3教科4科目)	国語	「国語」	200
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目(注1)	200
	外国語	「英語」(注2)	200
	大学入学共通テストの配点合計		600
個別学力検査等	面接		300
配点合計			900

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

(注1) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

(注2) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算します。

7 選抜期日

選 抜 期 日
2022年11月19日(土)

8 合格者発表日時

合 格 者 発 表 日 時
2023 年 2 月 14 日（火） 10：00

※62 ページを参照してください。

9 入学手続日

入学手続は「**郵送**」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

入 学 手 続 受 付 期 間
2023 年 2 月 16 日（木）～2023 年 2 月 20 日（月）【 必着 】

※63～64 ページを参照してください。

看護学部

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

本学部の学位授与方針及び教育課程編成や実施方針を踏まえ、人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力を持ち、人の立場を思いやり援助することを志向し、保健医療福祉の発展や持続可能な社会の実現に貢献しようとする志を持つ向学心旺盛で優れた資質を有する学生を受け入れるため、次のような学生を求める。

(1) 求める学生像

- 1 論理的・創造的な思考を表現できる基礎学力を有する人
- 2 目的意識をもって積極的に学ぶ姿勢を有する人
- 3 人々の生活に深い関心を持ち、他者と喜び、苦しみ、痛みを分かち合い、生命の尊厳について理解しようとする熱意を有する人
- 4 人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力を持ち、主体性と協調性をもって他者と協働する姿勢を有する人
- 5 看護の実践をとおして保健医療福祉の向上に寄与する意志を有する人
- 6 大学院等で、さらに高度な専門的知識と能力を身につけ、指導的立場を担う研究教育者や高度看護実践者を目指す意欲を有する人

以上に基づき、次の能力や適性を身につけた学生を選抜する。

(2) 入学前能力

1) 意欲

価値観や思考過程の多様性をみとめながら、協調性をもって主体的に学ぶことができ、看護の実践をとおして、社会に貢献する意欲をもっていること

2) 能力

多様な学問分野に支えられている看護に必要な知識や技術を体系的に修得でき、論理的・創造的な思考を表現できる幅広い基礎学力をもっていること

3) 志向

人間の喜び、苦しみ、痛みを分かち合え、生命の尊厳について理解しようとする姿勢をもっていること

(3) 入学後能力

入学前の能力をさらに伸ばし、教育目標に定められた資質を身につける意欲があること

※看護学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



入学者選抜の基本方針

入学者選抜においては、多様な人材を選抜するために一般選抜のほか、学校推薦型選抜、私費外国人留学生特別選抜を実施する。各選抜においては、意欲、能力、志向を測定するために、学力試験、面接、出願書類等の評価を用いる。

【学校推薦型選抜】

大学入学共通テストで、高等学校教育段階において目指す基礎学力を有していることを確認する。高等学校の学校長の推薦を得た者が出願できることとし、出願書類（推薦書、調査書、志望理由書）では、意欲と看護学科での学修に十分対応できる思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、意欲・能力・志向を総合的に評価する。

1 募集人員（看護学部は、学部単位で募集します。）

募 集 人 員
55 名

（注）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

2 出願資格・出願要件等

(1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。

- ① 高等学校等（注ア）を 2023 年 3 月に卒業見込みの者（留学等により、2022 年 4 月 1 日以降に高等学校等の卒業を認められた（見込み）者を含む。）又は通常の課程による 12 年の学校教育を 2023 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ② 学力だけでなく、人物・能力において特に優れ、本学部での勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③ 令和 5（2023）年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者（受験する予定の者を含む。）
- ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者

(2) 各高等学校等で推薦できる人数は、大阪府内の高等学校等は 3 名以内、その他の高等学校等は 1 名とします。

（注ア） 高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。

- ・高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）
 - ・学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 2 号から第 4 号及び第 7 号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関
- ただし、同条第 7 号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの（2023 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するものを含む。）」により出願する場合は、事

前に資格審査を行います。出願資格審査はインターネット出願登録期間の1か月前までに書類の提出が必要となりますので、杉本キャンパス入試課（06-6605-2141）に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022年10月28日（金）10:00 ～2022年11月4日（金）17:00	2022年11月1日（火）～2022年11月4日（金） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

4 出願書類等

（*）がついた本学所定の様式は、以下の本学 Web サイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html



書類種別	注意事項
(1) 出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A4サイズの白の用紙に印刷してください（カラー印刷推奨）。
(2) 写真票及び縦4cm×横3cmの写真（1枚）	本学所定の様式（*）に必要事項を記入し、写真（上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。写真の裏に学部、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式（*）により、出身学校長が作成し両面で印刷して厳封したものを提出してください（パソコン等での作成も可）。
(5) 志望理由書	本学所定の様式（*）により、志願者本人が自筆で記入してください。
(6) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A4サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦33.2cm×横24cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1つの封筒にまとめても構いません。

5 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後に提出）

書類種別	注意事項
令和5（2023）年度大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙	12月に大学入学共通テスト受験票が手元に届き次第、大学入学共通テスト受験票に付属の「 推薦 国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼付台紙に貼り付け、 2022年12月23日（金） 必着で、看護学部の郵送先（70ページ）に簡易書留郵便で送付（郵送封筒は任意）してください。大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙（本学所定の様式（*））はA4サイズの白の用紙に印刷し、志願者本人が自筆で記入してください。

6 選抜方法

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。
個別学力検査は課しません。

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト （5教科6又は7科目）	国語	「国語」	100
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	50
	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目と「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	100
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」から2科目又は「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択（注3）	100
	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目選択（注4）	100
大学入学共通テストの配点合計			450
個別学力検査等	出願書類		100
配点合計			550

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

- (注2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。
- ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- (注3) 「理科」において、受験科目を「基礎を付した科目」2科目又は「基礎を付していない科目」1科目と指定しているところをそのいずれも受験した場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点及び「基礎を付していない科目」1科目の得点のうち、高得点を採用します。なお、この場合、同一名称科目を付した科目の選択を認めます。また、「基礎を付していない科目」2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- (注4) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点100点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点100点に換算します。
- 英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200点を配点100点に換算します。

7 合格者発表日時

合 格 者 発 表 日 時
2023年2月14日(火) 10:00

※62 ページを参照してください。

8 入学手続日

入学手続は「郵送」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

入 学 手 続 受 付 期 間
2023年2月16日(木)～2023年2月20日(月)【必着】

※63～64 ページを参照してください。

生活科学部

<アドミッション・ポリシー>

求める学生像

生活科学部は「健康」「環境」「福祉」を基礎概念とし、生活を取り巻く3分野を研究対象とする食栄養学科、居住環境学科、人間福祉学科の3学科から構成され、分野横断的な教育研究を行う。既知の問題を効率的に解く能力だけでなく、人間生活の多様な側面を新たな視点や感性によって捉え、自ら問題を発見して解決策を見出すことのできる人材の育成を目指す。

したがって、生活科学部では、次のような学生を求めている。

- ・本学部の学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
- ・学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- ・自己学習や協働を通して学問を探究し、自らの経歴を形成することができる人

食栄養学科

安全、安心な食環境の創造を通じた健康増進のために、食・栄養学をはじめ、化学、生物、物理、数学、英語などの基礎学力や、根拠に基づくプレゼンテーションや討論の技能を有し、社会や地域の食・栄養問題を解決することのできる人材の育成を目指す。

したがって、食栄養学科では、次のような学生を求めている。

- 1 食・栄養に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
- 2 学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- 3 自己学習や協働を通して食品栄養科学や栄養生命科学を探究し、自らの経歴を形成することができる人

居住環境学科

新たな居住環境の創造のために、居住環境学をはじめ、科学、技術、工学、数学などの基礎学力や、根拠に基づくデザインやプレゼンテーションの技能を有し、社会や地域の居住環境問題を解決することのできる人材の育成を目指す。

したがって、居住環境学科では、次のような学生を求めている。

- 1 居住環境に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
- 2 学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- 3 自己学習や協働を通して学問や居住空間のデザインを探究し、自らの経歴を形成することができる人

人間福祉学科

人口構造や社会構造の変化、地域社会の変貌にともなって生起する現代の生活課題を正確に把握し、多様で深刻な個人及び地域の課題に対応できる人材の養成を目指す。

したがって、人間福祉学科では、次のような学生を求めている。

- 1 人間福祉に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意思を有する人
- 2 学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
- 3 自己学習や協働を通して、人とのかかわり、人を支えることに関心をもち、福祉課題を探究し、自らの経歴を形成することができる人

※生活科学部の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html>



入学者選抜の基本方針

多様な人材を選抜するために、一般選抜、学校推薦型選抜、国際バカロレア特別選抜、私費外国人留学生特別選抜を実施する。ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで示した（知識・理解）、（技能）、（実践的姿勢）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の目標を達成するための基礎が備わっていることを確認するために、次の「学力の3要素」に関する成果に基づいて入学者選抜を行う。

- 1 知識・技能
大学入学共通テストおよび個別学力検査等において一定の水準の成績を収めている。
- 2 思考力・判断力・表現力等の能力
大学入学共通テストおよび個別学力検査等において一定の水準の成績を収めている。
- 3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
口述試験や志望理由書等の内容が優れている。

1 募集人員（生活科学部は、学科単位で募集します。）

学 科	募 集 人 員	受 験 区 分 等
食栄養学科	20 名	均等型 10 名（大阪府内枠 4 名、全国枠 6 名）
		理数重点型 10 名（大阪府内枠 4 名、全国枠 6 名）
居住環境学科	9 名	大阪府内枠 2 名、全国枠 7 名
人間福祉学科	15 名	大阪府内枠 2 名、全国枠 13 名

（注1）総合判定の結果により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。その欠員数は、一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

（注2）食栄養学科は入試の型により授業を受けるキャンパスが異なります。入試の型が「均等型」の場合、2年次は羽曳野キャンパス、「理数重点型」の場合、2年次は杉本キャンパスとなります。1年次は入試の型に関係なく杉

本キャンパス、3年次・4年次は森之宮キャンパスの予定です。なお、2年次のキャンパスが異なっても修学上の差はありません。
 (注3) 人間福祉学科の資格取得に係る実習・演習科目の履修は、学内選抜による定員制です。

2 出願資格・出願要件等

- (1) 出願できるのは、次の各号の全てに該当する者に限ります。
 - ① 次のアとイのいずれかに該当する者
 - ア 高等学校等(注ア)を2022年3月に卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者(留学等により、2021年4月1日以降に高等学校等の卒業を認められた(見込み)者を含む。)又は通常の課程による12年の学校教育を2022年3月以降に修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
 - イ 2021年4月以降に高等学校等以外の学校を卒業(修了)した者及び2023年3月卒業(修了)見込みの者で、本学において高等学校等を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。この出願要件により出願する場合は、事前に資格審査を行います。
 - ② 学力だけでなく、人物、能力、資質等において特に優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者
 - ③ 令和5(2023)年度大学入学共通テストの所定の教科・科目を受験した者(受験する予定の者を含む。)
 - ④ 合格した場合は、必ず入学することを確約できる者
- (2) 各高等学校等で推薦できる人数に制限はありません。
- (3) 大阪府内枠で出願できるのは、次のいずれかに該当する者です。
 - ① 2021年4月以降に卒業(修了)した者で、志願者又は保護者が2021年4月1日以前から引き続き大阪府内に住所(住民票があること)を有するもの
 - ② 2023年3月に卒業(修了)見込みの者で、志願者又は保護者が2022年4月1日以前から引き続き大阪府内に住所(住民票があること)を有するもの
 - ③ 大阪府内の高等学校等を卒業した者及び卒業見込みの者
- (4) 大阪府内枠で不合格となった者は、全国枠に該当する者と共に再度選抜します。

(注ア) 高等学校等は、以下に該当する教育機関をいいます。
 ・高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)
 ・学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第2号から第4号及び第7号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者が在籍する教育機関
 ただし、同条第7号「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの(2023年3月31日までに18歳に達するものを含む。)」により出願する場合は、事前に資格審査を行います。出願資格審査はインターネット出願登録期間の1か月前までに書類の提出が必要となりますので、杉本キャンパス入試課(06-6605-2141)に申し出てください。

3 出願期間

インターネット出願登録期間	出願書類の郵送提出期間
2022年10月28日(金)10:00 ～2022年11月4日(金)17:00	2022年11月1日(火)～2022年11月4日(金) 【簡易書留郵便(速達可)にて必着】

4 出願書類等

(*) がついた本学所定の様式は、以下の本学Webサイトからダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html



書類種別	注意事項
(1) 出願確認票(大学提出用)	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A4サイズの白の用紙に印刷してください(カラー印刷推奨)。
(2) 写真票及び縦4cm×横3cmの写真(1枚)	本学所定の様式(*)に必要事項を記入し、写真(上半身無帽正面で、出願日より3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。写真の裏に学部・学科、氏名を記入してください。
(3) 調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
(4) 出身学校長の推薦書	本学所定の様式(*)により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください(パソコン等での作成も可)。
(5) 志望理由書	本学所定の様式(*)により、自己の体験に基づき志願者本人の自筆で、志望理由、自己評価、抱負等を記入してください(1,600字～2,000字以内、A4用紙片面印刷、鉛筆可)。
(6) 出願資格確認書	本学所定の様式(*)により、志願者本人が自筆で記入してください。
(7) 住民票等(該当者のみ)	57ページ 2 出願資格・出願要件等(3)①により出願する者は2021年4月1日以前から、出願資格・出願要件等(3)②により出願する者は2022年4月1日から引き続き大阪府内に現住所を有することを確認するため、2022年10月2日以降に交付を受けた以下のいずれかを提出してください。

	【志願者本人が大阪府内に現住所を有する者】 本人の住民票を提出してください。 ※こちらに該当する場合、保護者の住民票等は不要です。 【保護者が大阪府内に現住所を有する者】 保護者の住民票及び戸籍個人事項証明書を提出してください。
(8) 宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから再度ログインし、A4サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒（縦33.2 cm×横24 cm）に貼り付けてください（カラー印刷推奨）。

※厳封が必要な書類が複数ある場合は、1つの封筒にまとめても構いません。

5 大学入学共通テスト成績請求票（出願期間終了後に提出）

書 類 種 別	注 意 事 項
令和5（2023）年度大学入学 共通テスト成績請求票貼付台紙	12月に大学入学共通テスト受験票が手元に届き次第、大学入学共通テスト受験票に付属の「 推薦 国公立推薦型選抜用」と書かれた成績請求票を貼付台紙に貼り付け、 2022年12月23日（金） 必着で、生活科学部の郵送先（70ページ）に簡易書留郵便で送付（郵送封筒は任意）してください。大学入学共通テスト成績請求票貼付台紙（本学所定の様式（*））はA4サイズの白の用紙に印刷し、志願者本人が自筆で記入してください。

6 選抜方法

●食栄養学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

<第2次選考>

口述試験により判定します。

<第1次選考>

均等型

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト （5教科7科目）	国語	「国語」	100
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	100
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目（注2）	100
	理科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択	100
	外国語	「英語」（注3）	100
	大学入学共通テストの配点合計		500
個別学力検査等	出願書類		100
配点合計			600

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

理数重点型

試 験 の 区 分	教 科	科 目 名	配 点
大学入学共通テスト （5教科7科目）	国語	「国語」	50
	地理歴史・ 公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	50
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目 選択 計2科目（注2）	150
	理科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択	150
	外国語	「英語」（注3）	100
	大学入学共通テストの配点合計		500
個別学力検査等	出願書類		100
配点合計			600

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

（注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

（注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修

了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

- (注3) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点100点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点100点に換算します。

<第2次選考>

個別学力検査等	配点
口述試験	※◎

※口述試験は、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき「合」「否」で判定します。

●居住環境学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類(調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書)を総合して判定します。

<第2次選考>

口述試験により判定します。

<第1次選考>

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科6又は7科目)	国語	「国語」	50
	地理歴史・公民	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択(注1)	50
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目(注2)	100
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目選択(注3)	100
	外国語	「英語」(注4)	100
	大学入学共通テストの配点合計		400
個別学力検査等	出願書類		100
配点合計			500

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- (注1) 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

- (注2) 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」・「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。

- (注3) 「理科」において、受験科目を「基礎を付した科目」2科目又は「基礎を付していない科目」1科目と指定しているところをそのいずれも受験した場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点及び「基礎を付していない科目」1科目の得点のうち、高得点を採用します。なお、この場合、同一名称科目を付した科目の選択を認めます。また、「基礎を付していない科目」2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。

- (注4) 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語(英語)の得点として、配点100点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点100点に換算します。

<第2次選考>

個別学力検査等	配点
口述試験	※◎

※口述試験は、入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に基づき「合」「否」で判定します。

●人間福祉学科

<第1次選考>

大学入学共通テスト、出願書類（調査書、出身学校長の推薦書、志望理由書）を総合して判定します。

<第2次選考>

口述試験により判定します。

<第1次選考>

試験の区分	教科	科目名	配点
大学入学共通テスト (5教科6又は7科目)	国語	「国語」	100
	地理歴史 公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1科目選択（注1）	50
	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目選択 計2科目（注2）	100
	理科	「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目又は「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目選択（注3）	50
	外国語	「英語」（注4）	100
	大学入学共通テストの配点合計		400
個別学力検査等	出願書類		100
配点合計			500

・2科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

- （注1） 「地理歴史・公民」において、受験科目を1科目と指定しているところを2科目受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- （注2） 「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科・理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目（「社会と情報」・「情報の科学」等）を履修した者は該当しません。
- ※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学B」を設けていない場合に限り選択できます。
- （注3） 「理科」において、受験科目を「基礎を付した科目」2科目又は「基礎を付していない科目」1科目と指定しているところをそのいずれも受験した場合は、「基礎を付した科目」2科目の合計点及び「基礎を付していない科目」1科目の得点のうち、高得点を採用します。なお、この場合、同一名称科目を付した科目の選択を認めます。また、「基礎を付していない科目」2科目を受験した場合は、第1解答科目の得点を採用します。
- （注4） 「外国語」の「英語」については、「リーディング」100点、「リスニング」100点の合計200点を「リーディング」150点、「リスニング」50点の合計200点に換算し、外国語（英語）の得点として、配点100点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100点を200点に換算し、配点100点に換算します。

<第2次選考>

個別学力検査等	配点
口述試験	※◎

※口述試験は、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき「合」「否」で判定します。

7 選抜期日（第1次選考合格者）

選 抜 期 日
2023年2月11日（土・祝）

8 合格者発表日時

選 考 種 別	合 格 者 発 表 日 時
第1次選考	2023年2月9日（木）10：00
第2次選考	2023年2月14日（火）10：00

※61～62 ページを参照してください。

9 入学手続日

入学手続は「**来学**」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

入 学 手 続 指 定 日
2023年2月20日（月）

※63～64 ページを参照してください。

VI 第1次選考合格者発表

1 第1次選考合格者発表について（第1次選考を実施する場合のみ）

合格者の受験番号を、以下のとおり本学 Web サイトに掲載します。

大阪公立大学 合格者発表 ▶▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/pass.html



学部・学科	発表日時	Web サイト掲載期間
理学部 物理学科 化学科 生物学科 地球学科 生物化学科	2023 年 2 月 8 日 (水) 17:00	2023 年 2 月 8 日 (水) 17:00 ～2023 年 2 月 10 日 (金) 17:00
工学部 機械工学科	2022 年 11 月 11 日 (金) 10:00	2022 年 11 月 11 日 (金) 10:00 ～2022 年 11 月 13 日 (日) 17:00
工学部 電子物理工学科	2023 年 2 月 8 日 (水) 17:00	2023 年 2 月 8 日 (水) 17:00 ～2023 年 2 月 10 日 (金) 17:00
工学部 化学バイオ工学科	2022 年 12 月 1 日 (木) 10:00	2022 年 12 月 1 日 (木) 10:00 ～2022 年 12 月 3 日 (土) 17:00
獣医学部 獣医学科	2022 年 11 月 11 日 (金) 10:00	2022 年 11 月 11 日 (金) 10:00 ～2022 年 11 月 13 日 (日) 17:00
生活科学部 食栄養学科 居住環境学科 人間福祉学科	2023 年 2 月 9 日 (木) 10:00	2023 年 2 月 9 日 (木) 10:00 ～2023 年 2 月 11 日 (土・祝) 17:00

(注) 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

Ⅶ 第2次選考・最終選考合格者発表

1 第2次選考・最終選考合格者発表について

合格者の受験番号を、以下のとおり本学 Web サイトに掲載します。

大阪公立大学 合格者発表 ▶▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/pass.html



学部・学域・学科等	発表日時	Web サイト掲載期間
現代システム科学域 知識情報システム学類	2023 年 2 月 14 日 (火) 10:00	2023 年 2 月 14 日 (火) 10:00 ～2023 年 2 月 20 日 (月) 17:00
現代システム科学域 環境社会システム学類 教育福祉学類 心理学類	2022 年 12 月 1 日 (木) 10:00	2022 年 12 月 1 日 (木) 10:00 ～2022 年 12 月 7 日 (水) 17:00
経済学部 経済学科	2023 年 2 月 14 日 (火) 10:00	2023 年 2 月 14 日 (火) 10:00 ～2023 年 2 月 20 日 (月) 17:00
商学部 商学科 公共経営学科		
理学部 物理学科 化学科 生物学科 地球学科 生物化学科		
工学部 機械工学科 電子物理工学科		
工学部 応用化学科	2022 年 12 月 1 日 (木) 10:00	2022 年 12 月 1 日 (木) 10:00 ～2022 年 12 月 7 日 (水) 17:00
工学部 マテリアル工学科 化学バイオ工学科	2023 年 2 月 14 日 (火) 10:00	2023 年 2 月 14 日 (火) 10:00 ～2023 年 2 月 20 日 (月) 17:00
農学部 応用生物科学科 生命機能化学科 緑地環境科学科		
獣医学部 獣医学科		
医学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻		
看護学部 看護学科		
生活科学部 食栄養学科 居住環境学科 人間福祉学科		

(注) 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

2 合格通知書及び入学手続書類

- (1) 合格者には合格通知書及び入学手続書類を郵送します。
- (2) 合格者発表にて合格を確認したが、合格通知書及び入学手続書類が入学手続受付期間又は入学手続指定日前日までに到着しなかった場合は、68 ページ「問合せ先」まで連絡してください。郵便の不着又は遅配を理由とした、入学手続受付期間及び入学手続指定日の受付時間以降の入学手続は一切認めません。

Ⅷ 入学手続

1 入学手続について

以下の学部・学域等の入学手続は「**郵送**」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

学 部 ・ 学 域	学 科 ・ 学 類 等	入 学 手 続 受 付 期 間
現代システム科学域	環境社会システム学類	2022 年 12 月 7 日（水） ～2022 年 12 月 13 日（火）【 必着 】
	教育福祉学類	
	心理学類	
工学部	応用化学科	2023 年 2 月 16 日（木） ～2023 年 2 月 20 日（月）【 必着 】
医学部	リハビリテーション学科	
	理学療法学専攻 作業療法学専攻	
看護学部	看護学科	

(注) 入学手続書類を郵送するまでに、入学料の納付が必要となります。入学手続書類は、上記手続受付期間内必着で郵送してください。持参による手続は行いません。

以下の学部・学域等の入学手続は「**来学**」により行います。詳細については、別途合格者に案内します。

学 部 ・ 学 域	学 科 ・ 学 類 等	入 学 手 続 指 定 日
現代システム科学域	知識情報システム学類	2023 年 2 月 20 日（月）
経済学部	経済学科	
商学部	商学科	
	公共経営学科	
理学部	物理学科	
	化学科	
	生物学科	
	地球学科	
	生物化学科	
工学部	機械工学科	
	電子物理工学科	
	マテリアル工学科	
	化学バイオ工学科	
農学部	応用生物科学科	
	生命機能化学科	
	緑地環境科学科	
獣医学部	獣医学科	
生活科学部	食栄養学科	
	居住環境学科	
	人間福祉学科	

(注) 入学手続時までに、入学料の納付が必要となります。入学手続書類は、入学手続指定日に必ず持参してください。郵送による手続は行いません。なお、入学手続は代理人でも差し支えありません。

- (1) 入学手続受付期間又は入学手続指定日に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものととして取り扱います。
- (2) 合格者の入学辞退は認めません。ただし、入学できないやむを得ない特別の事情があるときは、入学手続までに出身学校長から「学校推薦型選抜辞退願」を合格した学部・学域に提出し、本学の許可を得てください。
なお、やむを得ない特別の事情がなく入学を辞退した場合は、翌年度以降、当該高等学校等からの学校推薦型選抜の出願を受理しない場合があります。
- (3) (2) により入学を辞退した場合を除き、他の国公立大学・本学の学部・学域等の一般選抜（前期・公立大学中期・後期日程）を受験しても合格判定の対象とはなりません。
- (4) 大学入学共通テストを課す学部・学域等については、大学入学共通テスト受験票は、紛失、破損等のないよう特に注意してください。もし、紛失したときは、速やかに再発行の手続を行ってください。大学入学共通テスト受験票を送付又は持参しなかったときは、入学手続ができない場合があります。
- (5) 本学に入学手続をした者は、それ以後、これを辞退して他の国公立大学・本学の他学部・学域等に入学手続をすることはできません。また、他の国公立大学・本学の他学部・学域等に入学手続をした者は、それを辞退して本学に入学手続をすることはできません。

2 入学許可の取消し

- (1) 出願書類等に虚偽の登録をした場合、又は入学試験において不正行為を行ったことが判明した場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (2) 高等学校等の課程を卒業（修了）できない場合は、入学手続完了後であっても入学許可を取り消します。

Ⅸ 学費（入学料・授業料等）

学費（入学料・授業料等）については、現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。合格者に送付する入学手続書類に詳細を記載しますので、必ず確認してください。各問合せ先については、68 ページを参照してください。

（注）既納の納付金は還付しません。

1 入学料 「大阪府民及びその子」 282,000 円 「その他の者」 382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続を行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2023年4月入学者の場合、2022年4月1日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

必要書類：住民票（対象者全員）、戸籍全部事項証明書（必要者のみ）などの公的書類

※入学手続日の1か月以内に交付を受けてください。

詳細は入学手続書類送付時に案内します。

- ・入学料は、入学手続日までに所定の振込用紙にて納付してください。
- ・入学料の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。
- ・入学手続完了後は、入学を辞退した場合でも入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。「大阪公立大学・大阪公立大学高専等の授業料等支援制度」に申請予定の場合でも、必ず入学料を納付した上で入学手続をしてください。入学後、本制度の申請者には、免除の割合に応じて入学料の還付を行います。

2 授業料（年額）535,800 円（入学後に納付）

- ・授業料は年額の 1/2 を半期毎（前期・後期）に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・授業料減免申請者は、当該年度の授業料金額及び引落日が上記と異なることがあります。

3 その他

- (1) 各種団体等に加入していただくために別途費用が必要です。
- (2) キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。

(3) 獣医学部における負担金

実験機器充実負担金及び実習充実負担金（年額）185,000 円（入学後に納付）

（注）2 年次以降もこれらの費用が必要です。

(4) 個人ノートパソコンの準備（必携）

授業の履修登録や成績の閲覧、その他各種連絡事項のやり取りに加え、授業についてもシステムの使用を前提とし、極力電子ファイルを用いた資料配付、課題提出を行うなど、パソコンを活用した教育・研究を進めていきます。新入生の皆さんには、授業が始まるまでにノートパソコンの準備をお願いします。ノートパソコンの必要スペックは、本学の Web サイトで公開しています。

(5) 医学部・看護学部では、医療施設における実習に備え、医学的対応（各種感染症の抗体検査、予防接種等）が必要です。また、抗体検査、予防接種等にかかる費用は自己負担となります。なお、医学部では、授業及び自己学習に使用する e-learning 教材の利用料も自己負担となります。

(6) 一部の学部・学域・学科等では、実習費等が必要となります。金額等の詳細は、各学部・学域のオリエンテーション等でお知らせします。

X 経済支援制度について

本学には、授業料減免制度や奨学金などの学生が利用できる経済支援制度があります。各種制度に関する詳細や申請方法については、本学 Web サイトに掲載しております。

<大阪公立大学 経済支援制度>

https://www.omu.ac.jp/campus-life/tuition/financial_aid/



XI その他

1 個人情報の取扱いについて

- (1) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、大学入学共通テストを課す選抜は、氏名及び大学入学共通テスト受験番号に限り、大学入学共通テストを課さない選抜は、氏名、性別、生年月日及び高等学校等コードに限り、可否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学に送達されます。
- (2) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、上記(1)のほか、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (3) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律及び大阪府個人情報保護条例の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

2 個人別成績の情報提供について

2023 年度学校推薦型選抜の個人別成績について、以下のとおり提供します。

(1) 提供内容

大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目別得点（配点公表分のみ）

(2) 提供期間

2023 年 5 月 9 日（火）10:00 から 2023 年 6 月 9 日（金）15:00 まで

(3) 提供対象者

受験者本人に限りです。

(4) 請求方法

以下 URL にアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

成績開示 ▶▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/score.html



ア 個人別成績の情報提供を希望する場合、出願時に必ず4桁の成績開示用暗証番号を登録してください。成績開示用暗証番号は、インターネット出願登録時にのみ登録できます。成績開示用暗証番号は出願確認票（本人控）に印刷されますので、取扱いに十分注意してください。

イ 成績開示用のパスワードは、出願時に登録した成績開示用暗証番号に続いて受験番号を入力してください。

例えば、出願時に登録した成績開示用暗証番号が「1230」、受験番号が「987654」の場合は「1230987654」となります。

ウ 本人確認として生年月日の入力が必要です。

3 注意事項

- (1) 大規模な自然災害・電車の遅延等により、入学試験が予定どおり実施できない場合、以下の本学 Web サイトに情報を掲載しますので、確認してください。

大阪公立大学 重要なお知らせ ▶▶▶

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/news/>



- (2) 詐欺まがいの行為について

試験場周辺において本学関係者を装い、受験者に「合否連絡をする」、「緊急時に自宅に連絡する」などと言葉巧みに近寄り、個人情報を入力させ、現金を要求する行為が発生しています。本学関係者が受験者に現金を要求することは一切ありませんので注意してください。

試験会場交通アクセス

■ 杉本キャンパス

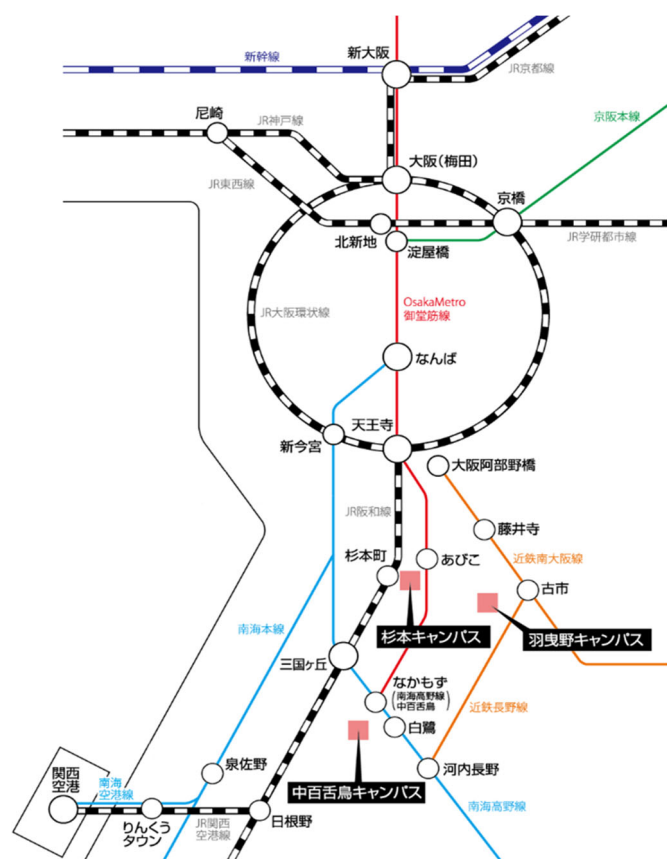


- ・ JR 阪和線「杉本町駅」下車、東口からすぐ
- ・ Osaka Metro 御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口から南西へ徒歩約15分

■ 中百舌鳥キャンパス



- ・ 南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約7分
- ・ 南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ徒歩約13分
- ・ Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅」下車、5号出口から南東へ徒歩約13分



■ 羽曳野キャンパス



- ・ 近鉄南大阪線「藤井寺駅」下車、南口近鉄バス（1番のりば 71、78 系統、3番のりば（銀行前）61、62、65、66、67 系統）で約10分、「府立医療センター」下車、徒歩約10分
- ・ 近鉄南大阪線「古市駅」下車、近鉄バス（1番のりば 87 系統）で約10分、「大阪府立大学羽曳野キャンパス」下車。又は近鉄バス（2番のりば 81、82 系統）で約10分、「府立医療センター」下車、徒歩約10分

問合せ先・各キャンパス窓口

お問い合わせの前に、入試に関する Q&A も確認してください。

大阪公立大学 入試に関する Q&A ▶▶

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/qa.html



【現代システム科学域・工学部・農学部・獣医学部】

事 項	電話番号／E-mail	問 合 せ 先	
入試・受験上の配慮に関すること	072-254-9202	入試課	中百舌鳥 キャンパス
入学手続・入学料に関すること		現代システム科学域	
		工学部	
		農学部	
	072-252-6305	獣医学部	
	072-254-9202		
授業料等に関すること	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp	学生課	杉本 キャンパス
経済支援制度に関すること	06-6605-2102 gr-gks-shogakukin@omu.ac.jp	学生課	

【経済学部・商学部・理学部・生活科学部】

事 項	電話番号／E-mail	問 合 せ 先	
入試に関すること	06-6605-2141	入試課	杉本 キャンパス
受験上の配慮・入学手続に関する こと	06-6605-2251	経済学部	
	06-6605-2201	商学部	
	06-6605-2504	理学部	
	06-6605-2803	生活科学部	
入学料・授業料に関すること	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp	学生課	
経済支援制度に関すること	06-6605-2102 gr-gks-shogakukin@omu.ac.jp	学生課	

【医学部リハビリテーション学科・看護学部】

事 項	電話番号／E-mail	問 合 せ 先	
入試・受験上の配慮及び入学手 続・入学料に関すること	072-950-2117	医学部リハビリテーション 学科	羽曳野 キャンパス
		看護学部	
授業料に関すること	06-6605-2054 gr-gks-gakuhi@omu.ac.jp	学生課	杉本 キャンパス
経済支援制度に関すること	06-6605-2102 gr-gks-shogakukin@omu.ac.jp	学生課	

受付日時：月～金曜日（祝日及び休業日を除く） 9:00～17:00

【郵送先】

学 部 ・ 学 域 等	郵 送 先
現代システム科学域	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号 大阪公立大学 入試課（中百舌鳥キャンパス）
工学部	
農学部	
獣医学部	
経済学部	〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪公立大学 入試課（杉本キャンパス）
商学部	
理学部	
生活科学部	
看護学部	〒545-0051 大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5番17号 大阪公立大学 看護学部事務室（阿倍野キャンパス）
医学部	
リハビリテーション学科	〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号 大阪公立大学 羽曳野キャンパス事務所 学生グループ入試担当

Web サイト

最新の情報は、Web サイトからご確認ください。

大阪公立大学 入試情報サイト

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/>



大阪公立大学

学務部入試課

〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

TEL 06-6605-2141 FAX 06-6605-2133

2022年7月発行